

学則（収容定員）の変更の趣旨等を記載した書類

1. 収容定員変更の内容

令和4年度における神戸大学医学部医学科の入学定員を12人増員し、100人から112人に変更する。

	入学定員	編入学定員	収容定員
変更前	100	5	625
変更後	112	5	637

2. 収容定員変更の必要性

〈地域枠〉

全国的に地域医療に従事する医師の不足が指摘されている中、平成28年10月に兵庫県が策定した兵庫県地域医療構想において、全県で取り組む事業として県内の医師不足地域の勤務医の確保が掲げられおり、兵庫県において、特殊な医療を除く一般的な医療サービスを提供する二次医療圏別にみると、人口10万対の医師数は、神戸圏域(315.7人)・阪神南圏域(279.8人)では全国値(244.9人)を上回るものの、その他の8圏域(153.6～213.3人)では全国値を下回っている。

このような状況を踏まえ、本学では、地域医療に携わる医師の不足という状況の解消に向けた医師養成の取組を行っているところであり、「経済財政改革の基本方針2009」（平成21年6月閣議決定）に基づいた兵庫県からの医師養成数増の依頼を受け、平成22年度に医学部医学科の入学定員を3人、「新成長戦略(平成22年6月閣議決定)」に基づいた兵庫県からの依頼により平成23年度には入学定員を2人、平成24年度には入学定員を3人、平成25年度には入学定員を2人増やしていたところである。

このたび、「経済財政運営と改革の基本方針2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」(平成30年6月15日閣議決定)及び「令和4年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について(令和2年11月25日厚生労働省医政局長・文部科学省高等教育局長通知)」を踏まえ、また、兵庫県から令和4年度以降も継続したいとの依頼を受け、県内の地域医療に従事する医師確保政策に対応するため、兵庫県と本学が連携して、令和4年度以降引き続き医学部医学科の入学定員10人増を行い、卒業後、県内で地域医療に貢献する医師を養成し、効率的・効果的に医師を配置しようとするものである。

〈研究医枠〉

「地域の医師確保等の観点からの平成26年度医学部入学定員の増加について」(文部科学省高等教育局長通知)を踏まえ、社会的要請の強い基礎医学分野の研究医の養成を図るため、平成26年度から研究医養成の入学定員を2人増やしていたところである。

このたび、「経済財政運営と改革の基本方針 2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定)及び「令和 4 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持 について (令和 2 年 11 月 25 日厚生労働省医政局長・文部科学省高等教育局長通知)」を踏まえ、令和 4 年度以降引き続き医学部医学科の入学定員 2 人増を行い、基礎医学分野の研究医の養成を図るものである。

3. 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

地域枠は平成 22 年度から、研究医枠は平成 26 年度から入学定員を増員して教育を行っており、今回の増員に伴い教育課程等の変更はない。

〈地域枠〉

教育課程については平成 22 年度の定員増の際に計画したとおり、従前から開講していた 1 年次の「初期体験臨床実習」に加えて、地域医療に関する科目を 1 年次から 6 年次まで計画的に学べるよう配当している。

1 年次では、入学手続き後に「総合診療セミナー」を実施し、夏季集中講義「初期体験臨床実習」で地域におけるチーム医療を体験させ、1～3 年次にかけて「地域医療学」を開講し、地域医療に関する理解をより深めるようにしている。

また、2 年次には早期臨床実習 1 (介護施設での実習)、3 年次には早期臨床実習 2 (特別支援学校での実習)において講義を行っている。4 年次ではチュートリアル教育から独立して、地域社会医学実習 (在宅ケア・訪問看護の実習)を新たに開講し、地域の医療問題に焦点を当てた問題解決型学習を実施している。

さらに、4 年次後半から 5 年次の「ベッドサイドラーニング」において地域医療現場での実習を行い、5 年次の「関連病院実習」、6 年次の「個別計画実習」で地域医療機関におけるクリニカルクラークシップ (医学生が医療チームの一員として患者の診療に携わる臨床実習形態) 型の実習を選択できるようにしている。教員組織については、平成 22 年度に地域医療に関する教育を担当する教員を 2 人増員し、体制を充実させている。

〈研究医枠〉

平成 24 年度から、基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成プログラム (文部科学省大学改革推進事業)として、「基礎医学研究医育成コース」を実施している。このコースは、医学部医学科において基礎配属実習 1・基礎配属実習 2 を履修した後、「医学研究 (1)」、「医学研究 (2)」、「医学研究 (3)」及び「医学研究 (4)」を履修しようとする者を対象とし、他の学生と同様に医師になるために必要な教育を受けると同時に、科学的思考法を身につけ論文作成や学会発表などを体験し、早期から基礎研究医に必要な技能を習得させるものである。また、履修生の研究指導強化のための研修会開催、学会等での発表援助など学生が意欲的に研究に参加できるような支援を行っている。

平成 26 年度以降は、「基礎医学研究医育成コース」における選択科目履修のため、

元々2年後期～3年前期にかけて開講していた基礎配属実習1・基礎配属実習2を2年後期に集約して完結させ、その後、「医学研究(1)・(2)・(3)・(4)」へ進む等の6年間を通して研究に携わる授業を設けている。

以上に述べた複合的な取り組みを通して、基礎医学研究医育成に対する教育基盤は整備されていることから、今回の入学定員の増員に伴う新たな教育課程、教育方法、履修指導方法、及び教育組織の変更は行わない。一方で、参加型臨床実習時間を大幅に増やすと同時に、研究者育成のための教育の更なる充実を図るため、「基礎医学研究医育成コース」履修者は、「関連病院実習」、「個別計画実習」の中において研究に専念できるコースを設けている。

また、平成28年度からは、奈良県立医科大学、関西医科大学、大阪医科大学、兵庫医科大学、神戸大学の5校で関西5医科大学コンソーシアムを形成して、毎年1回一泊二日で交流のリトリートを開催している。昨年度はコロナ禍の為、オンデマンドで開催され、神戸大学からは7名の学生が参加し、WEBで活発な議論を展開した。

令和4年度
医学部入学定員増員計画

神大企第25号
令和3年8月25日

文部科学省高等教育局長 殿

神戸大学長
藤澤 正人
(公印省略)

「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医学部学務課長 浦田 勇二
	TEL	078-382-5205
	FAX	078-382-5215
	E-mail	kyomu1@med.kobe-u.ac.jp

大学名	国公立
神戸大学	国立

1. 現在(令和3年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
112	5		697



(収容定員計算用)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
(ア)入学定員	112	112	112	112	112	112	672
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員							0
計	117	117	117	117	117	112	697

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和4年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	5		625



(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	100	100	100	100	100	100	600
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員							0
計	105	105	105	105	105	100	625
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和4年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
112	5		637



(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	112	100	100	100	100	100	612
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員							0
計	117	105	105	105	105	100	637
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 12



(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	10
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	2
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	
計	12

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 10

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 兵庫県	10
大学所在地以外の都道府県	
計	10

※「大学所在地以外の都道府県」から都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R2地域枠定員 (※1)	R2貸与者数 (※2)	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R2とR3の貸与 者数のうち多い 方の数
兵庫県	10	10	10	10	10
					0
					0
					0
計	10	10	10	10	10

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和4年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和2年度に実施した地域枠学生(令和3年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
学校推薦型選抜(地域特別枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	10	10	高等学校等の長の推薦に基づき、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。なお、出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テスト(5教科7科目)以下の配点の成績により第1次選抜を行います。この場合は、第1次選抜合格者の中から、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。	次のすべての要件を満たす者 (1) 高等学校等の長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上で、かつ人物が優れていると認められる者 (4) 令和3年度大学入学共通テストの次の5教科7科目を受験する者	H22	
合計			10	10				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

②令和3年度に実施する地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
学校推薦型選抜(地域特別枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	10	10	高等学校等の長の推薦に基づき、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。なお、出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テスト(5教科7科目)以下の配点の成績により第1次選抜を行います。この場合は、第1次選抜合格者の中から、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。	次のすべての要件を満たす者 (1) 高等学校等の長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上で、かつ人物が優れていると認められる者 (4) 令和4年度大学入学共通テストの次の5教科7科目を受験する者	H22	
合計			10	10				

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

① 地域枠学生が卒業後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和4年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1～3年次に「地域医療学」、2年次に「地域医療システム学」と「行動科学」、4年次に「臨床講義3(ユニット4)の1部としての地域医療」という科目を開講するとともに、2年次に「早期臨床実習1」、3年次に「早期臨床実習2」、4年次に「地域社会医学実習」実習を行うと共に、5・6年次における関連病院実習や個別計画実習も含め、地域包括ケアを学び体験する6年一貫の地域医療教育を実施している。

(参考: 記入例)
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■を新たに開始するなど、～を図ることとしている。

② (過去に地域枠を設定したことがある場合) これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

(参考: 記入例)
平成22年度から地域枠による増員を開始し、授業以外に地域医療先進地域ツアー・健康講話ツアー・冬季セミナーなどの取組を行ってきた。令和3年度までに107名の地域枠学生を確保し、そのうち46名が卒業し、国家試験不合格者・死亡者を除く44名が現在「県養成医師キャリア形成プログラム」のもと地域医療に貢献している。

(参考: 記入例)
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和3年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～として地域医療に貢献している。

③ 上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生 必修	その他の学生 必修			
1～3年次	地域医療学	全員	必修	必修	講義	1	H22
2年次	地域医療システム学	全員	選択必修	選択必修	講義	1	H30
2年次	行動科学	全員	選択必修	選択必修	講義	1	R3
2年次	早期臨床実習1	全員	必修	必修	実習	1	H27
3年次	早期臨床実習2	全員	必修	必修	実習	1	H28
4年次	臨床医学講義3(ユニット4)地域医療	全員	必修	必修	講義	14単位のうち1単位の相	H29
4年次	地域社会医学実習	全員	必修	必修	実習	1	H29
5年次	関連病院実習	全員	必修	必修	実習	4	H30
6年次	個別計画実習(地域医療実習)	全員	必修	選択	実習	18単位のうちの2単位の	H27

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください)
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度
1~6	地域医療夏季セミナー	全員	有り	3日間	地域医療活動の体験を通して、へき地保健医療に対する認識を高め、へき地での勤務に対する動機を促すため実施	H22
1~6	総合診療セミナー	地域枠学生	有り	2日間	地域医療人としての意識の早期醸成を図る、総合診療セミナーを実施	H22
1~6	地域わくわく会	地域枠学生	有り	1日	兵庫県養成医学生が、地域医療に関する体験の発表と情報共有を通して、地域医療を実践するための仕組みを理解する	H23
1	地域医療体験ツアー	全員	有り	2日間	朝来市のそよかせ診療所、はるかぜ診療所での診療体験等を通じて地域医療機関の役割等を認識するため実施	H26
2~4	地域医療先進地域見学ツアー	地域枠学生	有り	2~3日間	地域医療を先進的取り組み地域に赴き、地域医療活動の実際、地域住民と病院との関係、地域づくり等の知識を学ぶ	H26
2~5	地域医療健康講話ツアー	全員	有り	2日間	丹波市で開催される住民向け講習会にて健康講話の実践を通じて地域医療機関の役割等を認識するため実施	H26
1~6	地域医療エキスパートセミナー	全員	有り	1日	地域医療のエキスパートを招聘し、実践している地域医療活動の紹介や地域医療に係る知識等の講演会を実施	H26
1~6	よいとこ健診ツアー	全員	有り	1日	まちづくり事業の一部であるよいとこ健診の企画・実施を通して、地域活動のスキル習得のため実施	H30

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和3年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
地域医療シンポジウム	地域全体の教育スキルを高める「地域医療のあり方と住民の地域医療教育への関わりを高める」をテーマに年1回開催	H26
兵庫県養成医師臨床研修指定病院・研修内容説明会	兵庫県養成医師の受ける臨床研修内容の情報交換(特に5年生)ならびに研修の一層の充実を図ることを目的に年1回開催	H27
MenJoyプロジェクト	地域医療の現場での課題や悩みを明確にし、解決策について議論を深めるため講演会、ワークショップを年1回開催	H27
兵庫県養成医を対象としたキャリア形成支援のための研修会	派遣・研修中の県養成医に、兵庫県養成医制度(修学資金貸与制度)の概要の説明、県養成医間の交流を深めることを目的に年1回開催	H27
内視鏡セミナー	兵庫県養成医師・医学生を対象に、シミュレーターを使用し、内視鏡手術をトレーニングするセミナー。年1回開催	H28
侵襲的手技セミナー	兵庫県養成医師・医学生を対象に、シミュレーターを使用し、骨髄穿刺、関節穿刺、胸腔穿刺、脊椎穿刺の手技をトレーニングするセミナー。年1回開催	H28
兵庫県養成医師web連絡会議	兵庫県養成医師が出席するテレビ会議を開催。情報共有や勤務における問題点、疑問などについて議論する。月1回開催	H29

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

2. 都道府県等との連携

① 都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例: 200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無 (※1)			
兵庫県	10人	新入生		(一人あたり) 11514800	大学を卒業し医師免許取得後、直ちに医師として兵庫県が定めるキャリア形成プログラム(県養成医師キャリア形成プログラム)に沿って、当県が指定するへき地(医師不足地域等)の公立病院等で9年間の勤務した場合、貸与した修学資金の返還を免除します。	② 大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施	×	×		

(※1) ○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

② その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例: 在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)		開始年度
卒後勤務に関するヒアリング	兵庫県養成医学生6年生を対象に、臨床研修病院の希望等のキャリア形成に係るヒアリングを兵庫県担当者と連携して実施している。		H26
勤務希望に関するヒアリング	兵庫県養成医師に対して、兵庫県担当者と連携して、勤務希望等のキャリア形成に係るヒアリングを実施している。		H26
勤務状況等に関する相談業務	派遣中の兵庫県養成医師に対して、兵庫県担当者と連携して、現地を訪問し、勤務環境に係る相談業務を実施している。		H27

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

3. その他

1～2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)
特に、都道府県からの奨学金の賞与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

--

◎学校推薦型選抜（地域特別枠）（旧推薦入試）

学部・学科名等	医学部医学科												
募集人員	10人												
出願資格及び 出願要件並びに 推薦人員	<p>【出願資格】 次のいずれかに該当する者 (1) 兵庫県内に所在する高等学校又は中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を令和2年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 兵庫県外に所在する高等学校等を令和2年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者であって、出願時において、本人又は保護者のいずれかが3年以上継続して兵庫県に在住している者</p> <p>【出願要件】 次のすべての要件を満たす者 (1) 高等学校等の長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者 (2) 兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事することが確約できる者 (3) 調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.3以上で、かつ人物が優れていると認められる者 (4) 令和4年度大学入学共通テストで医学科が指定する5教科7科目（下記参照）を受験する者</p> <p>大学入学共通テストの利用教科・科目名</p> <table border="1" data-bbox="443 1003 1390 1326"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と （「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1）の2</td> </tr> <tr> <td>地理歴史、公民</td> <td>「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」から1</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」「化学」「生物」から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注1】①「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者（「情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。 ②「英語」については、「リーディング」と「リスニング」を課します。</p> <p>【推薦人員】 各高等学校等から推薦できる者は、1校当たり2人以内とします。</p>	教科名	科目名	国語	「国語」	外国語	「英語」	数学	「数学Ⅰ・数学A」と （「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1）の2	地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」から1	理科	「物理」「化学」「生物」から2
教科名	科目名												
国語	「国語」												
外国語	「英語」												
数学	「数学Ⅰ・数学A」と （「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1）の2												
地理歴史、公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」から1												
理科	「物理」「化学」「生物」から2												

入試方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。</p> <p>なお、出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テストの成績により第1次選抜を行います。</p> <p>この場合は、第1次選抜合格者にのみ、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。</p>																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>外国語</th> <th>数学</th> <th>地歴、公民</th> <th>理科</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入学共通テスト</td> <td>150</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>50</td> <td>200</td> <td>-</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>面接・口述試験</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	試験の区分	国語	外国語	数学	地歴、公民	理科	その他	合計	大学入学共通テスト	150	200	200	50	200	-	800	書類審査	-	-	-	-	-	100	100	面接・口述試験	-	-	-	-	-	300	300
	試験の区分	国語	外国語	数学	地歴、公民	理科	その他	合計																									
	大学入学共通テスト	150	200	200	50	200	-	800																									
書類審査	-	-	-	-	-	100	100																										
面接・口述試験	-	-	-	-	-	300	300																										
<p>【注2】①大学入学共通テストの「外国語」における「英語」の成績は、リーディング（100点満点）を160点満点、リスニング（100点満点）を40点満点に換算し、合計得点200点満点に換算します。また、リスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。</p> <p>②大学入学共通テストの「地理歴史、公民」で2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。</p>																																	
出願期間	令和4年1月11日（火）から令和4年1月19日（水）17時まで《必着》																																
第1次選抜方法	<p>【選抜方法】 出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テストの成績により第1次選抜を行います。</p> <p>【選抜結果の通知】 令和4年2月8日（火）志願者全員に合否結果を電子郵便で通知します。</p>																																
最終選抜方法	<p>【選抜方法】 第1次選抜合格者にのみ、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、大学入学共通テストの成績、推薦書・調査書・志望理由書を総合して選抜します。</p> <p>「面接・口述試験」を通して、地域医療・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（地域特別枠）の実施目的を考慮し、特にへき地（医師不足地域等）の医療に対する熱意及びへき地（医師不足地域等）に定着できる可能性等の観点から受験者の資質を見極めます。</p> <p>【選抜期日】 令和4年2月13日（日）面接・口述試験</p>																																
合格者発表日	令和4年2月15日（火）（予定）																																
その他	<p>【注意事項】 医学部医学科総合型選抜との併願はできません。 詳細は、学生募集要項で確認してください。</p> <p>【学生募集要項請求方法】 （1）募集要項は、令和3年10月中旬に発表する予定です。 （2）郵便により請求する場合は、封筒に必ず「医学部医学科学校推薦型選抜学生募集要項請求」と朱書きし、受信者の住所、氏名、郵便番号を明記の上、郵便切手210円（医学部医学科案内パンフレットも請求する場合は250円）を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封して下記まで請求してください。 〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 神戸大学医学部医学科 教務学生係</p> <p>詳細は、医学部医学科ホームページをご覧ください。医学部医学科教務学生係にお問い合わせください。</p>																																

令和3年度

学校推薦型選抜 (地域特別枠)

医学部医学科 学生募集要項

募集要項請求方法

郵便により請求する場合は、封筒に必ず「医学部医学科学校推薦型選抜（地域特別枠）入試学生募集要項請求」と朱書きし、受験者の住所、氏名、郵便番号を明記のうえ、郵便切手210円（医学部パンフレットも希望する場合は250円）を貼付した返信用封筒（角形2号、幅24.0cm×長さ33.2cm）を同封してください。

〒650-0017

神戸市中央区楠町7-5-1

神戸大学医学部学務課医学科教務学生係 まで請求してください。

お問い合わせ先

神戸大学医学部学務課

医学科教務学生係 TEL 078-382-5205

神戸大学

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入学者選抜の実施方法に変更が生じる場合があります。

その場合は、医学部医学科ホームページ (<https://www.med.kobe-u.ac.jp/index.html>) にその旨を案内しますので、適宜ご確認ください。

目 次

1	趣 旨	1
2	学校推薦型選抜(地域特別枠)で求める学生像	1
3	学校推薦型選抜(地域特別枠)の実施目的及び 兵庫県地域医療支援医師修学制度の概要	1
4	募 集 人 員	2
5	出 願 資 格	2
6	出 願 要 件	3
7	推 薦 人 員	3
8	出 願 手 続	3
	(1) 出願期間	3
	(2) 出願に必要な書類等	3
	(3) 出願書類の送付先	4
9	入学者選抜方法	5
	(1) 面接・口述試験	5
	(2) 大学入学共通テストと面接・口述試験等の配点等	5
10	試験場及び交通機関	5
11	合格者発表	6
12	入 学 手 続	6
	(1) 入学手続日時	6
	(2) 入学手続に必要なもの	6
	(3) 入学手続における留意事項	6
13	入学辞退者の取扱いについて	7
14	一般選抜への出願について	7
15	個人情報の取扱いについて	7
16	留 意 事 項	7
	麻しん(はしか)・風しん等の感染予防措置	8
	入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について	10
	医学部医学科試験場案内図	11
	入学願書記入上の注意	12
	入学試験状況	13

添 付 書 類

この要項には、出願に必要な次の書類が添付されています。

- 1 入学願書・整理票
- 2 推薦書
- 3 志望理由書
- 4 郵便局・ゆうちょ銀行専用払込用紙(検定料用)
- 5 郵便送付票
- 6 受験番号通知はがき
- 7 出願用封筒

1 趣 旨

医学部医学科における教育は、高い倫理観を有し高度な専門的知識・技能を身に付けた医師を養成することを目的としていますが、その目的に留まらず、旺盛な探究心と想像力を有する「科学者」としての視点を持った医師及び生命科学・医学研究者を育成することを目指し、広い視野を持って、それぞれの領域における指導者として、国内外で活躍できる人材の育成を目標としています。

また、医師不足の問題が指摘されている中、社会の要請に応える観点から、学校推薦型選抜（地域特別枠）を実施します。

したがって、医学部医学科への入学を志す受験者は、これらのことを受け止めることのできる能力や意識を持った人材であることが要求されます。

2 学校推薦型選抜(地域特別枠)で求める学生像

1. 兵庫県地域医療支援医師修学制度を深く理解し、兵庫県におけるへき地（医師不足地域等）の医療を担う強い意志を持った学生
[求める要素：主体性・協働性、関心・意欲]
2. 誠実かつ勤勉で、医師にふさわしい人間性を備えている学生
[求める要素：主体性・協働性、関心・意欲]
3. 生命科学・医学に強い興味を持ち、探究心と学習意欲が旺盛な学生
[求める要素：関心・意欲]
4. しっかりとした基礎学力を身に付けている学生
[求める要素：知識・技能]
5. 協調性があり、問題解決において独創性と指導性を発揮できる学生
[求める要素：思考力・判断力・表現力、主体性・協働性]
6. 国際的に活躍する意欲を持った学生
[求める要素：主体性・協働性、関心・意欲]

3 学校推薦型選抜(地域特別枠)の実施目的及び兵庫県地域医療支援医師修学制度の概要

(1) 実施目的

全国的に医師不足の問題が指摘されている中、兵庫県においても一部の地域や診療科などで、必要な医療体制を確保し、維持していくことが難しい状況が生まれています。

学校推薦型選抜（地域特別枠）では、国の「経済財政改革の基本方針2009」に基づき、将来の兵庫県における医療を担う人材を兵庫県と連携して育てていくことを目的としています。

医師として活躍するに十分な資質と明確な目的意識を持ち、兵庫県のへき地（医師不足地域等）医療（注）に貢献したいという強い関心を持ち、へき地（医師不足地域等）に定着する意志を持つ人の入学を期待しています。

（注）兵庫県のへき地（医師不足地域等）医療

- ① 兵庫県地域医療支援医師修学制度による医師として兵庫県知事が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等や診療所に勤務すべき年限（義務年限）は9年間となっており、医師不足の問題を抱えているへき地（医師不足地域等）が主な勤務地となります。
- ② 義務年限の期間に選択可能な診療科と勤務先は兵庫県が決定します。

(2) 兵庫県地域医療支援医師修学制度の概要

当該学校推薦型選抜による入学者全員に対して、兵庫県が学費、生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。入学者は全員、入学時に兵庫県から修学資金貸与決定を受け、6年間修学資金が支給されます。兵庫県地域医療支援医師修学制度の詳細は、以下の兵庫県による「兵庫県地域医療支援医師修学制度について」を参照してください。

「兵庫県地域医療支援医師修学制度について」

兵庫県では、地域医療を志す神戸大学医学部医学科学学校推薦型選抜（地域特別枠）により入学した者を対象に、次のとおり修学資金を貸与します。

<修学資金貸与について>

① 貸与資格

令和3年度神戸大学医学部医学科学学校推薦型選抜（地域特別枠）により入学した者で、大学卒業後、直ちに医師として兵庫県が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等で勤務する意思を有していること。

② 貸与額

- (1) 1年生 年額2,335,800円
- (2) 2～6年生 年額1,835,800円

※貸与額は現在の予定であり、今後変更する可能性があります。

③ 貸与期間

6年間を限度とする（正規の修学期間）。

④ 返還の免除

大学を卒業し医師免許取得後、直ちに医師として兵庫県が定めるキャリア形成プログラム（県養成医師キャリア形成プログラム）に沿って、当県が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等で9年間勤務した場合、貸与した修学資金の返還を免除します。

この期間は兵庫県の正規職員として採用し、2年間の臨床研修、2年間の後期研修を含みます。

（令和2年度現在の勤務形態）

卒後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
勤務形態	臨床研修		前期へき地 （医師不足地域等）派遣			後期研修		後期へき地 （医師不足地域等）派遣	

※当該プログラムの詳細は兵庫県のホームページを参照してください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/ishisyugakushikin.html>

⑤ その他

兵庫県地域医療支援医師修学制度に関する詳しいことは、下記までお問い合わせください。

兵庫県地域医療支援センター（兵庫県健康福祉部健康局医務課内）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

電話 078-341-7711 内線3230

メール imu@pref.hyogo.lg.jp

4 募集人員 10人

5 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 兵庫県内に所在する高等学校又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を平成31年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 兵庫県外に所在する高等学校等を平成31年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者であって、出願時において、本人又は保護者のいずれかが3年以上継続して兵庫県に在住している者

（注）出願資格(2)による出願について

以下のいずれかの要件に該当することを確認し、必要な書類を提出してください。

(2)-A：出願時において、本人の現住所地在3年前（平成30年1月1日以前）から引き続き、兵庫県内にあること。

(2)-B：出願時において、保護者の現住所地在3年前（平成30年1月1日以前）から引き続き、兵庫県内にあること。

この場合の保護者とは父母とします。ただし、父母がいない場合は祖父母等とします。

また、保護者のいずれかが単身赴任等により兵庫県外に居住する場合も、兵庫県内に居住する保護者の現住所地を選択しても結構です。

ただし、保護者の現住所地は、3年前（平成30年1月1日以前）から引き続き、兵庫県内にある場合に限ります。

6 出願要件

次のすべての要件を満たす者

- (1) 高等学校等の長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者
- (2) 兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事する者
- (3) 調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.3以上で、かつ人物が優れていると認められる者
- (4) 令和3年度大学入学共通テストの次の5教科7科目を受験する者

教科名	科目名
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」から1
数学	「数学I・数学A」と （「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1）の2
理科	「物理」「化学」「生物」から2
外国語	「英語」

(注) 1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者（「情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

2 「英語」については、「リーディング」と「リスニング」を課します。

7 推薦人員

各高等学校等から推薦できる者は、1校あたり2人以内とします。

8 出願手続

(1) 出願期間

令和3年1月5日(火)から令和3年1月14日(木)17時まで**に必着**

出願書類の受付は、郵送のみとし、直接持参しても受理できませんので、郵便事情を十分に考慮して早めに送付してください。

(2) 出願に必要な書類等

書類等	備考
①入学願書 (整理票)	所定の用紙により、「入学願書記入上の注意」を参照の上、記入してください。(12ページ参照)
②大学入学共通テスト 成績請求票	大学入試センターから送付された 令和3共通テスト成績請求票のうち、「推薦 国公立推薦型選抜用」 を入学願書の所定の欄に貼ってください。
③調査書	文部科学省所定の様式により高等学校等の長が作成し、厳封したもの。
④推薦書	所定の用紙により高等学校等の長が作成したもの。(出願日より遡って3か月以内に作成し、厳封したもの)
⑤志望理由書	『出願動機と兵庫県の地域医療に対する抱負』について、所定の用紙により自筆にて記入・作成したもの。
⑥写真	3か月以内に撮影したものを整理票の所定欄に貼ってください。 (上半身, 脱帽, 正面, 縦4cm・横3cm)
⑦検定料	17,000円 所定の郵便局・ゆうちょ銀行専用払込用紙(検定料用)を使用して郵便局・ゆうちょ銀行(ATM不可)で払い込み、振替払込受付証明書(郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が必要)を願書裏面の所定の欄に貼り付けて提出してください。

	<p>納付された検定料は次の場合を除き返還できません。</p> <p>①出願書類等を提出しなかった場合、出願書類等が受理されなかった場合 ②検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ③出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合 ④第1次選抜で不合格となった場合 (第1次選抜は、出願者が募集人員の約2倍を上回る場合のみ実施します)</p> <p>※検定料の返還額・方法 ・上記①又は②の場合 返還額は別途お知らせします。 ・上記③又は④の場合 13,000円を返還します。 返還方法は「検定料返還請求書」にてお知らせします。</p>
⑨郵便送付票	<p>所定の用紙に出願者が確実に受信できる郵便番号・住所・氏名を記入し、郵便切手604円分を貼ってください。</p>
⑩受験番号通知はがき	<p>出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、郵便切手63円分を貼ってください。</p>
<p>⑩住民票等</p> <p>出願資格(2)により出願するもののみ提出</p>	<p>出願資格(2)により出願する者については、住民票等の提出が必要となります。住民票等は出願日前3か月以内に発行された個人番号(マイナンバー)が記載されていないものを提出してください。個人番号(マイナンバー)が記載された住民票等は受理できません。</p> <p>(2)-A: 出願時において、本人の現住所地在3年前(平成30年1月1日以前)から引き続き、兵庫県内にあること。 → ・入学志願者本人の住民票 3年以内(平成30年1月2日以降)に兵庫県内で転居している場合は、住民票の除票が必要になる場合があるので注意してください。</p> <p>(2)-B: 出願時において、保護者の現住所地在3年前(平成30年1月1日以前)から引き続き、兵庫県内にあること。 → ・保護者の住民票 3年以内(平成30年1月2日以降)に兵庫県内で転居している場合は、住民票の除票が必要になる場合があるので注意してください。</p> <p>・入学志願者と保護者との関係が分かるもの 入学志願者と保護者との関係が分かるものとして、以下のいずれか一つを提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 住民票(続柄が記載されているもの) <input type="checkbox"/> 入学志願者の出身高等学校等が発行する証明書(様式任意・学校長の証明印があるもの) <input type="checkbox"/> 健康保険証の写し(続柄が記載されているもの) <input type="checkbox"/> 市区町村役場が発行するもので関係がわかるもの

(3) 出願書類の送付先

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1
神戸大学医学部医学科 教務学生係

9 入学者選抜方法

高等学校等の長の推薦に基づき、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。

なお、出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テスト（5教科7科目、以下の配点）の成績により第1次選抜を行います。

この場合は、第1次選抜合格者にのみ、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。

※大学入学共通テストの特例追試験を受験しなければならなくなった志願者の対応については、検討中により決定次第、神戸大学医学部ホームページでその旨を案内しますので、確認ください。

(1) 面接・口述試験

「面接・口述試験」を通して、地域医療・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（地域特別枠）の実施目的を考慮し、特にへき地（医師不足地域等）の医療に対する熱意及び、へき地（医師不足地域等）に定着できる可能性等の観点から受験者の資質を見極めます。

試験 期 日	試験 時 間	試験 科 目
令和3年2月14日（日）	10時00分～	面接・口述試験

(注) 受験者は受験者控室に9時45分までに集合してください。

試験開始時刻等の詳細については、当日掲示します。

(試験は、遅くとも18時までに終了する予定です。)

(2) 大学入学共通テストと面接・口述試験等の配点等

試験の区分	国語	地理歴史、公民	数学	理科	外国語	書類審査	面接・口述試験	合計
大学入学共通テスト	150	(*1) 50	200	200	(*2) 200			800
書類審査						100		100
面接・口述試験							300	300
合計	150	(*1) 50	200	200	(*2) 200	100	300	1200

(注) (*1)印は、2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。

(*2)印は、リーディング [100点満点] を160点満点に、リスニング [100点満点] を40点満点に換算し、合計得点200点満点に換算します。なお、リスニングを免除された者については、リーディング [100点満点] を200点満点に換算した成績を用います。

10 試験場及び交通機関

試験場	所在地	交通機関
神戸大学 医学部附属 地域医療活性化 センター	神戸市兵庫区 荒田町2-1-5	○JR「神戸」駅下車 北へ徒歩約15分 ○神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車 北へ徒歩約10分 ○神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 西へ徒歩約8分 ○バス利用 JR「神戸」駅前より神戸市バス9系統、 110系統もしくは112系統に乗車 約5分 「楠町6丁目」バス停下車

(注) 詳細は11ページを参照してください。

11 合格者発表

- (1) 第1次選抜を実施した場合は、令和3年2月10日(水)17時に第1次選抜結果を神戸大学医学部ホームページに掲載するとともに、令和3年2月10日(水)に選考結果を受験者全員に電子郵便により通知しますので、令和3年2月11日(木)正午までに未着の場合は、最寄りの集配郵便局に問い合わせてください。なお、第1次選抜合格者に送付する選抜結果通知書は、最終選抜の受験票を兼ねますので、試験当日、大学入学共通テスト受験票とともに、必ず持参してください。
- (2) 最終合格者発表は、令和3年2月16日(火)10時(予定)に神戸大学医学部ホームページに掲載するとともに、合格者に「入学合格者へのお知らせ」等の書類を速達郵便で発送します。
なお、合格者への「合格通知書」は交付しません。
また、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じることはできません。
医学部ホームページアドレス：<https://www.med.kobe-u.ac.jp>
- (3) 合格者は、国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部（※）を除く。以下同じ。）の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。
※公立大学協会ホームページ参照 <http://www.kodaikyo.org/nyushi/>

12 入学手続

合格者は、医学部医学科教務学生係において、次により入学手続を行ってください。

(1) 入学手続日時

令和3年2月22日(月) 10時から17時まで

上記手続日に(2)の手続書類等を持参できない場合は、2月18日(木)17時までに電話によりその旨を連絡のうえ、郵送（書留速達郵便にて2月22日(月)17時までに必着）にて入学手続を行ってください。

(2) 入学手続に必要なもの

	手 続 書 類 等	備 考
①	令和3年度大学入学共通テスト試験受験票	再発行を受けた場合は、再発行された受験票のみ有効です。
②	令和3年度学校推薦型選抜(地域特別枠)受験票	
③	納付金 ◎ 入 学 料 282,000円	入学金については、(1)の入学手続日までに納付してください。

- (注) 1 上記の金額は、令和2年度の例です。
2 入学手続きの詳細(提出書類及び入学金の納付方法等)については、合格者に速達郵便でお知らせします。
3 納付した入学金は、いかなる理由があっても返還できません。
4 授業料は、年額535,800円です。(令和2年度実績)
前期分の授業料(267,900円)は、令和3年4月下旬に口座引き落としとなります。詳しくは、入学手続の詳細であわせてお知らせします。
なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 入学手続における留意事項

- ア 入学手続の際、「令和3年度大学入学共通テスト受験票」に入学手続完了の証明として、本学名の押印をします。
イ 合格者本人がやむを得ない事情により入学手続に来られない場合は、代理人によることも差し支えありません。
ウ 入学手続が完了した者に「入学許可書」及び「新入生の手引き」等の書類を交付します。

13 入学辞退者の取扱いについて

合格者が特別の事情により、入学手続を行わない場合は、医学部医学科教務学生係に事前に連絡の上、推薦を行った高等学校等の長から、令和3年2月22日(月)17時までに「学校推薦型選抜入学辞退届」を提出し、本学の許可を得てください。

合格者が、所定の期日までに入学手続をしなかった場合は、入学辞退の許可を得た場合を除き、合格者としての権利を消失し、出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

14 一般選抜への出願について

出願者は、学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部を選んで出願することができます。

なお、前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願は特に妨げません。

また、本学の一般選抜に出願する場合は、「令和3年度神戸大学学生募集要項（一般選抜）」に基づいて、出願手続を行ってください。

15 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学部が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取り扱います。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜(出願処理、選抜実施)、合格者発表、入学手続業務及び今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 出願にあたって提出された個人情報は、入学者の個人情報についてのみ、入学後の学生支援関係(健康管理、授業料免除及び奨学金申請等)、修学指導等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を神戸大学より委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。この場合、業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。
- (5) 国立大学の分離分割方式による合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供されます。

16 留意事項

- (1) 医学部医学科総合型選抜との併願はできません。
- (2) 選抜の結果によっては、募集人員に対して合格者が増減する場合があります。その場合は、一般選抜前期日程で調整します。
- (3) 入学願書には、所定事項を黒色ボールペン又はペンで明確に記入してください。
- (4) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがありますので十分注意してください。
- (5) 一度受理した出願書類等の返却及び記入事項の変更は認められません。ただし、連絡先に変更がある場合は、速やかに連絡してください。
- (6) 出願書類等に不正の事実があった場合は、入学決定後であっても許可を取り消すことがあります。
- (7) 「令和3年度大学入学共通テスト受験票」及び「令和3年度学校推薦型選抜(地域特別枠)受験票」は、入学手続に必要ですので大切に保管してください。
- (8) 障がいのある者等で、受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は、令和2年12月21日(月)までに医学部医学科教務学生係に申し出て相談してください。

(注) 事前相談は障がいのある者等に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障がいのある者等の受験や修学を制限するものではありません。

日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

《 麻しん(はしか)・風しん等の感染予防措置 》

1. 麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

本学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを入学後4月上旬に実施される新入生健康診断時に提出していただいています。ただし、医学部（医学科、保健学科）では①又は③のいずれかに限ります。

- ① 麻しん・風しんのワクチン接種を満1歳以降に、それぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類
- ② 過去5年以内（平成28(2016)年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
- ③ 過去5年以内（平成28(2016)年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

* ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。

* ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。医療機関等から発行される証明書の他、平成20(2008)年4月1日から平成25(2013)年3月31日まで実施されたMRワクチンの第3期予防接種（中学校1年生に相当する年齢時）や第4期予防接種（高校3年生に相当する年齢時）に伴う「予防接種済証」でもかまいません。

第3期・第4期の予防接種の「予防接種済証」は①の1回分として使用できます。

* 母子手帳も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。既往歴（かかったことがある旨の記載）のみで、診断根拠として確実な検査結果などが記載されていない場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。

* ③では、次頁の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。

* ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。

* 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

* 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

2. 流行性耳下腺炎と水痘のワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

〔医学部（医学科、保健学科）の新入生のみ〕

医学部（医学科、保健学科）の新入生には上記の麻疹・風しんに加えて、流行性耳下腺炎と水痘についても、ワクチン接種を満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けているか、過去5年以内（平成28(2016)年4月以降）に受けた抗体検査で「発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下表を参照）」を有しているか、のいずれかを証明する書類（様式は合格発表後に医学部入学試験合格者に郵送します。）を第1学年の7月末日までに提出していただきます。

また、血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつとなるよう提出期限までに受けていただきます。（2回のワクチン接種は4週間以上の間隔をおいて受けることが必要です。）

流行性耳下腺炎、水痘の血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によって予防接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

	測定方法	判定基準	備考
麻疹	IgG-EIA法	8.0以上の陽性 (16.0以上) *	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性 * 医学部(医学科・保健学科)は、3つの測定方法のうち、いずれかで()内の値以上の陽性
	PA法	128倍以上の陽性 (256倍以上) *	
	NT法	4倍以上の陽性 (8倍以上) *	
風しん	HI法 IgG-EIA法	32倍以上の陽性 8.0以上の陽性	2つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (HI法を推奨)
流行性耳下腺炎	IgG-EIA法	4.0以上の陽性	医学部(医学科・保健学科)のみ
水痘	IgG-EIA法	4.0以上の陽性	医学部(医学科・保健学科)のみ 4つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (IgG-EIA法を推奨)
	IAHA法	4倍以上の陽性	
	NT法	4倍以上の陽性	
	抗原皮内テスト	5mm以上の陽性	

血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。

発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、単に抗体陽性とされる値よりは高い値なので注意してください。特に、医学部（医学科・保健学科）では、麻疹の血中抗体価が（ ）内の値以上の陽性であることが必要です。

* 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。（特に、抗体検査を受ける場合は、測定方法と判定基準を確認していただいでください。）

* 神戸大学保健管理センターのホームページも御参照ください。

(URL : <http://www.health.kobe-u.ac.jp/>)

この感染予防措置に関する問い合わせは
 神戸大学 保健管理センター TEL 078-803-5245
 神戸大学 学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

《 入学金免除及び徴収猶予並びに授業料免除について 》

免除等の内容、申請方法等の詳細は、神戸大学ホームページ「教育・学生生活」→「経済支援」→「授業料・入学金免除などの制度」に掲載します。

(URL : <https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/finaid/index.html>)

掲載内容について、不明な点等がある場合は、下記の問い合わせ先に照会してください。

【入学金免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先】

神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

TEL 078-803-5431

【参考】

令和2年度の入学金免除及び徴収猶予並びに授業料免除の内容は、次のとおりです。

1. 入学金免除について

(1) 大学等における修学支援に関する法律の施行に伴い令和2年4月から始まる「高等教育の修学支援新制度」(以下「新制度」という。)の申請資格を満たす入学者は、日本学生支援機構の給付奨学金について、次のいずれかに該当する場合のみ申請ができます。

① すでに予約採用を行い採用候補者となっている。

② 入学後に在学採用の申込みを行う。

(注1) 上記①②いずれの場合も、入学手続き後必要な手続きを行ってください。手続きを行わなかった場合は、入学金徴収猶予に切り替えて取り扱います。

(注2) 一部免除又は免除不許可になった場合は、必ず決められた期間内に入学金を納付しなければなりません。

(2) 新制度の申請資格を満たさない入学者(留学生・学士編入者・高等学校等を初めて卒業した年度の翌年度の末日から、大学等に入学した日までの期間が2年を経過していない者等)においても、次のいずれかに該当する場合申請ができます。

① 入学前1年以内に、学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたことにより、入学金の納付が著しく困難であると認められる場合

② その他、①に準ずる場合で本学が相当と認める事由がある場合

(注1) 入学金を納付した者は、入学金免除の対象となりません。

(注2) 一部免除又は免除不許可になった場合は、必ず決められた期間内に入学金を納付しなければなりません。

2. 入学金徴収猶予について

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学金の徴収を猶予されることがあります。

① 経済的理由によって入学金の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

② 入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学金の納付が困難であると認められる場合

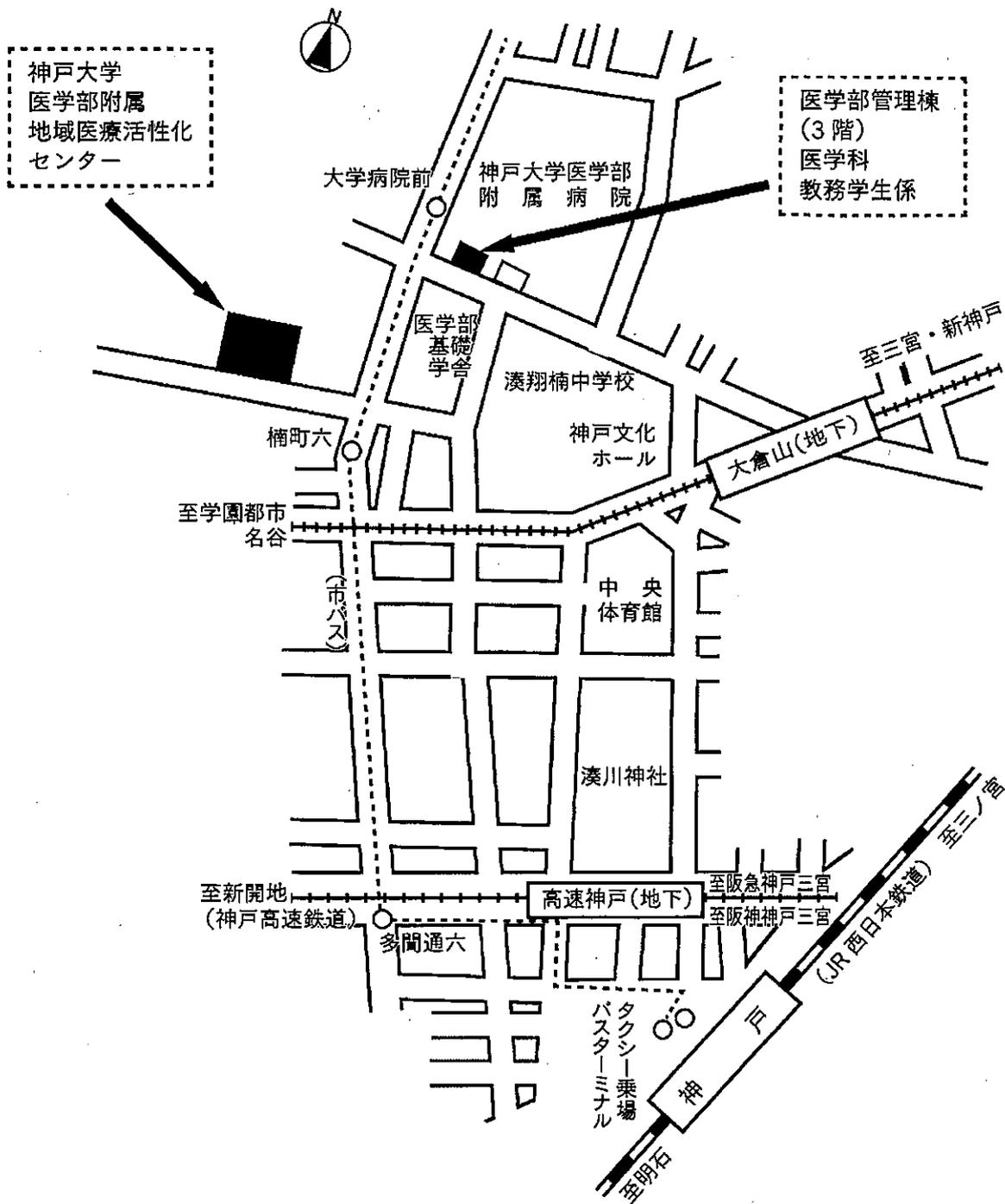
③ その他やむを得ない事情により納付期限までに納付が困難であると認められる場合

(注) 徴収猶予が許可になった場合でも、必ず決められた期間内に入学金を納付しなければなりません。

3. 授業料免除について

新制度の申請資格を満たす者について、日本学生支援機構の給付奨学金とあわせて実施します。

医学部医学科試験場案内図



試験場	所在地	交通機関
神戸大学 医学部附属 地域医療活性化センター	神戸市兵庫区 荒田町2-1-5	<ul style="list-style-type: none"> ○JR「神戸」駅下車 北へ徒歩約15分 ○神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車 北へ徒歩約10分 ○神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 西へ徒歩約8分 ○バス利用 JR「神戸」駅前より神戸市バス9系統, 110系統 もしくは112系統に乗車 約5分「楠町6丁目」バス停下車

入学願書記入上の注意

- ① 願書の空欄（※印の箇所を除く。）に所定事項を**黒色のボールペン又はペン**で記入例を参照して明確に記入してください。
なお、誤りや記入もれのないよう特に注意してください。
- ② 出願後は、記入事項の変更を認めません。ただし、連絡先の変更については⑥のとおり速やかに連絡してください。
- ③ 文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
- ④ 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正してください。

(記入例)

令和3年度 神戸大学入学願書 (医学部医学科学学校推薦型選抜用)

神戸大学長 殿 私はこのたび貴大学に入学したいので、必要書類等を添えて出願します。		※ 受験番号
フリガナ コウベ タロウ 氏名 神戸 太郎 (男)・女 平成 15 年 1 月 11 日生		大学入学共通テスト成績請求票貼付欄 推薦 令和3共通テスト成績請求票 国公立推薦型選抜用 1001K-20001X-1 (コウベ タロウ) 神戸 太郎
出願資格	学校所在地 兵庫 都道府県 県立 令和3年3月卒業 (卒業見込) 東西 高等学校	※ 調査書
	課程 学 科 全日制 (普通科) 理数科 定時制 (農業科) 工業科 通信制 (商業科) ()	※ 受付月日
志願者連絡先	〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 電話 (078) 881-1212 携帯電話 -	※ 取扱者
保護者連絡先	氏名 〒□□□-□□□□ 電話 () - 携帯電話 -	※ 出願資格の確認 (1): 兵庫県内の高校等を卒業又は卒業見込み (2)-A: 本人が3年以上継続して兵庫県内に在住 (2)-B: 保護者が3年以上継続して兵庫県内に在住 該当するものを○で囲んでください。

⑤ 課程・学科は該当するものを○で囲んでください。

⑥ 4月上旬までの間、連絡できる場所を記入してください。連絡先に変更があれば、速やかに医学部医学科教務学生係へ連絡してください。

⑦ 出願資格をよく確認し該当するものを○で囲んでください。

令和3年度 整理票 (神戸大学医学部医学科学学校推薦型選抜用)

写 真 3 か月以内に撮影のものを全面のり付けしてください。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm)	※ 受験番号 フリガナ コウベ タロウ 氏名 神戸 太郎 (男)女 平成 15 年 1 月 11 日生 連絡先 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 電話 (078) 881-1212 携帯電話 -
--	--

入学試験状況

年 度	募集人員	性別	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
2018年度	10	男	21	12	7	7
		女	17	8	3	3
		計	38	20	10	10
2019年度	10	男	21	13	5	5
		女	18	8	5	5
		計	39	21	10	10
2020年度	10	男	20	13	7	7
		女	16	8	3	3
		計	36	21	10	10

入試に関する問い合わせ先

神戸大学 医学部医学科 教務学生係

〒650-0017

神戸市中央区楠町7-5-1

☎ 078-382-5205

開講科目名	地域医療学1 (1年次)				
担当教員	柿木 章伸、上田 佳秀、河野 誠司、石田 達郎、見坂 恒明、岡山 雅信、隈部 綾子、出口 雅士、小林 成美、合田 健、小松 素明、八 橋 晋輔、石田 岳史			開講区分	単位数
				前期	1.0単位
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード	1M917
授業のテーマ 地域医療は、「地域社会とその住民の暮らしを支えるために、幅広い健康問題や要望に対応する包括的活動」です。地域医療の概念および求められるスキルを全員で考えるのが授業のテーマです。					
授業の到達目標 ・地域医療・地域保健の在り方と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身につける。					
授業の概要と計画 授業のテーマに沿って、実際に地域で活躍している医師を講師とし、地域に対する社会貢献の重要性、医師としての根源的な役割について学び、地域医療の本質を考えます。 授業は、講義、グループワーク、成果発表の順で実施されます。 ・講義：地域医療の概念、地域医療の実践例について。 ・グループワーク：10～11人/グループに分かれて、指定した課題のいずれかを議論します。 課題 ・地域医療活動を実践するために必要な技能」 ・地域の暮らしを支えるために必要な活動」 ・成果発表は、グループワークで導いた課題に対する意見を発表します。 なお、各グループにはチューターがつき、グループで課題ごとに意見をまとめるの見守ります。 授業の詳細はBEEFで確認してください。					
成績評価方法 地域医療学は1～3年を通して1単位を与えます。 地域医療学1は、発表内容50%と提出レポート50%で評価します なお、地域医療学I～IIIの総合評価は、各学年の評価の加算平均で評価します。					
成績評価基準 以下の基準に従って、発表内容と提出レポートを評価し、採点します。 ・地域医療の概念および活動について理解しているか。 ・上記課題について、適切な論理展開が実施された発表ならびにレポート作成ができるか。 ・誤字・脱字・文法の誤りがないか。 ・指定された体裁通りになっているか。					
履修上の注意 (関連科目情報) 特にありません。					
事前・事後学修 地域医療の概念・活動について事前に学修し、上記課題について、ワークショップで意見を述べる事が出来るようにしておくこと。 本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。					
オフィスアワー・連絡先 メール(dcme@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。					
学生へのメッセージ 1年生のはじめに、医学教育の中ではひと味違った実習形式の1日となっています。楽しく学修しましょう。					
今年度の工夫 オンラインで実施します(通信環境に不安のある学生は事前に連絡してください)。 グループ発表会では最優秀グループの表彰を行います。					
教科書 BEEFにて資料を配付する。					

参考書・参考資料等

地域医療学入門 / 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会監修：診断と治療社，2019
，ISBN:978-4-7878-2384-7

授業における使用言語

日本語

キーワード

地域医療 医師像

開講科目名	地域医療学2 (2年次)				
担当教員	柿木 章伸、上田 佳秀、河野 誠司、石田 達郎、見坂 恒明、岡山 雅信、隈部 綾子、出口 雅士、小林 成美、石川 朗宏、合田 健、大原 昌樹、三瀬 順一	開講区分	単位数		
		後期	1.0単位		
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード	3M917

授業のテーマ

地域医療は、「地域社会とその住民の暮らしを支えるために、幅広い健康問題や要望に対応する包括的活動」です。その活動内容の理解を深めることをテーマとして学習します。

授業の到達目標

- ・どの科の医師になっても求められる総合診療能力について学び、総合診療医のイメージ獲得する
- ・在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。
- ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できる。
- ・地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間および多職種間（行政を含む）の連携の必要性について説明できる。

授業の概要と計画

授業は、講義形式で実施されます。

第1回：地域医療の活動内容について

第2回：地域医療の実際について；担当講師は、長年、地域医療現場で活躍し、豊富な経験を通して、地域医療活動の実際を紹介しします。

第3回：在宅ケア・介護について；

第4回：在宅診療の実践例について；担当講師は、神戸市で在宅ケア長年実践している。その経験を通して在宅ケア活動の重要性を紹介する。

授業に係る詳細はBEEFで確認してください。

成績評価方法

地域医療学は1～3年を通して1単位を与えます。

平常点（授業の参加および理解度）とレポートを100%で評価し、各講義の加算平均で評価します。

なお、地域医療学Ⅰ～Ⅲの総合評価は、各学年の評価の加算平均で評価します。ただし、2年次編入学生は、2年と3年との加算平均で評価します。

成績評価基準

レポートの基準について

- ・講義の内容が正確に理解できているか。
- ・取り上げた課題について、適切に論理展開を行いレポートが作成できるか。
- ・選んだキーワードに沿って、適切に記載されているか。
- ・誤字・脱字・文法の誤りがないか。
- ・指定された体裁通りとなっているか。

履修上の注意（関連科目情報）

特にありません。

事前・事後学修

参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

メール(dome@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

BEEFにて資料を配付する。

参考書・参考資料等

地域医療学入門 / 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会監修：診断と治療社，2019
，ISBN:978-4-7878-2384-7

授業における使用言語

日本語

キーワード

地域医療、総合診療、在宅ケア、母子保健

開講科目名	地域医療学3 (3年次)				
担当教員	柿木 章伸、上田 佳秀、河野 誠司、石田 達郎、見坂 恒明、岡山 雅信、隈部 綾子、出口 雅士、小林 成美、合田 健、原田 昌範	開講区分	単位数		
		前期	1.0単位		
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード	1M918

授業のテーマ

地域医療は、「地域社会とその住民の暮らしを支えるために、幅広い健康問題や要望に対応する包括的活動」です。その活動の基盤となる総合診療について、その意義・重要性について理解することを目的とします。

授業の到達目標

- ・地域社会(へき地・離島を含む)における医療の状況、医師の偏在(地域および診療科)の現状について概説できる。
- ・かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。

授業の概要と計画

授業は、講義形式で実施されます。

第1回：地域医療を取り巻く社会状況と医師の偏在について

第2回：地域医療の基盤となる総合診療、プライマリ・ケア活動について

第3回：総合診療の実践例について

第4回：地域医療、とくにへき地医療を支える仕組みについて；担当講師は、へき地医療支援に長年携わり、多くの知識と経験を持つ、地域医療を支える仕組みの重要性を紹介し、

授業の内容に係る詳細はBEEFで確認してください。

成績評価方法

地域医療学は1～3年を通して1単位を与えます。

平常点(授業の参加および理解度)とレポートを100%で評価し、各講義の加算平均で評価します。

なお、地域医療学Ⅰ～Ⅲの総合評価は、各学年の評価の加算平均で評価します。ただし、2年次編入学生は、2年と3年との加算平均で評価します。

成績評価基準

レポートの基準について

- ・講義の内容が正確に理解できているか。
- ・取り上げた課題について、適切に論理展開を行いレポートが作成できるか。
- ・選んだキーワードに沿って、適切に記載されているか。
- ・誤字・脱字・文法の誤りがないか。
- ・指定された体裁通りとなっているか。

履修上の注意(関連科目情報)

特にありません。

事前・事後学修

参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

メール(dome@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

BEEFにて資料を配付する。

参考書・参考資料等

地域医療学入門 / 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会監修 : 診断と治療社, 2019
, ISBN:978-4-7878-2384-7

授業における使用言語

日本語

キーワード

地域医療 総合診療 へき地支援 医師の分布

開講科目名	地域医療システム学				
担当教員	岡山 雅信、柿木 章伸、上田 佳秀、河野 誠司、石田 達郎、見坂 恒明、隈部 綾子、出口 雅士、小林 成美、合田 健、小松 素明、櫻田 美雄、藤原 真治	開講区分	単位数		
		後期	1.0単位		
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード	3M922

授業のテーマ

地域医療を推進するためには、地域医療に関連する要素がひとつのシステムとして機能していることを理解する必要があります。この授業では、地域医療システムに係る各要素を概説し、地域医療システムの概要と重要性を説明できることを目的とします。

授業の到達目標

- ・地域医療ならびに地域社会をシステムとして捉えることができる。
- ・地域社会(へき地・離島を含む)における医療の状況、医師の偏在(地域および診療科)の現状について概説できる。
- ・医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等)および地域医療構想について説明できる。
- ・地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。
- ・かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を説明できる。
- ・地域における在宅医療の体制を説明できる
- ・在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。
- ・地域医療に積極的に参加・貢献する必要性を説明できる。
- ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できる。
- ・医療人類学や医療社会学などの行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論について概説できる。
- ・病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性について説明できる。
- ・経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。

授業の概要と計画

授業は、講義形式で実施されます。

第1回：地域医療システムと地域社会について
 第2回：地域医療システムの構成要素・人的要素とその役割について
 第3回：医療給付と社会保障制度について
 第4回：地域医療資源の分布と健康指標について
 第5回：地域医療システムと受療行動について
 第6回：地域医療と地域力について
 第7回：地域医療システムで必要な医療：総合診療の役割について
 第8回：地域基盤型研究について
 第9回：地域医療および地域人材の育成について
 第10回：兵庫県医療行政/地域包括ケアの推進と地域医療について
 第11・12回：人々のライフサイクルに関わる地域医療について
 第13・14・15回：医療と社会医学について

成績評価方法

平常点評価(講義の理解等で評価)30%と期末試験(筆記試験)70%で評価します。

成績評価基準

講義課題について理解できているか。
 到達目標について理解できているか。

履修上の注意(関連科目情報)

特にありません。

事前・事後学修

参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。
 本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

メール(dcme@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

BEEFにて資料を配付する。

参考書・参考資料等

地域医療学入門 / 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会監修：診断と治療社，2019
，ISBN:978-4-7878-2384-7

授業における使用言語

日本語

キーワード

地域医療、社会保障、医師の分布、総合診療、在宅ケア、介護保険、社会医学

開講科目名	行動科学			
担当教員	岡山 雅信、柿木 肇伸、上田 佳秀、河野 誠司、石田 達郎、見坂 恒明、隈部 綾子、出口 雅士、小林 成美、合田 健		開講区分	単位数
			後期	1.0単位
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード
				3M914

授業のテーマ

地域医療を推進するためには、地域医療に関連する要素がひとつのシステムとして機能していることを理解する必要があります。この授業では、地域医療システムに係る各要素を概説し、地域医療システムの概要と重要性を説明できることを目的とします。

授業の到達目標

- ・健康行動理論の基礎的な知識を述べるができる。
- ・行動科学を用いた研究手法について述べるができる。
- ・行動変容を促すためのスキルについて述べるができる。

授業の概要と計画

授業は、講義形式で実施されます。

- 第1回：健康行動理論の基盤；行動科学理論の変遷 について
- 第2・3回：健康行動理論の基盤；個人レベルの理論・モデルについて
- 第4・5回：健康行動理論の基盤；個人間レベルの理論・モデルについて
- 第6・7回：健康行動理論の基盤；集団レベルの理論・モデルについて
- 第8回：健康行動理論の研究と実践；個人レベルについて
- 第9回：健康行動理論の研究と実践；個人間レベルについて
- 第10回：健康行動理論の研究と実践；集団レベルについて
- 第11回：健康行動理論の研究と実践；多様な介入レベルについて
- 第12回：行動介入の留意点1；ヘルスプロモーション資料の開発について
- 第13回：行動介入の留意点2；行動変容技法のマッピングについて
- 第14回：行動介入の留意点3；恐怖心の再考について
- 第15回：行動介入の留意点4；メッセージ・フレーミングについて

成績評価方法

平常点評価（講義の理解等で評価）30％と期末試験（筆記試験）70％で評価します。

成績評価基準

- 講義課題について理解できているか。
- 到達目標について理解できているか。

履修上の注意（関連科目情報）

特にありません。

事前・事後学修

参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。
本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

メール(dcme@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

BEEFにて資料を配付する。

参考書・参考資料等

健康行動理論による研究と実践 / 一般社団法人日本健康教育学会編集 : 医学書院, 2019, ISBN:978-4-260-03635-1
行動変容を促すヘルス・コミュニケーション / C.エイブラハム, M.クルーズ編集, 竹中晃二, 上地広昭監訳 : 北大路書房, 2018, ISBN:978-4-7628-3034-1

授業における使用言語

日本語

キーワード

行動科学、行動変容、ヘルスプロモーション

科目名：早期臨床実習1（1単位）

項目名	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療教育学部門 特命教授 岡山 雅信
	連絡方法	TEL: 078-382-6732 E-mail: dcme@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命教授 河野 誠司
	役 職 氏 名	医学教育学分野 医学教育学部門 特命教授 石田 達郎
	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命准教授 小林 成美
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命教授 見坂 恒明
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命助教 隈部 綾子
授業のテーマ	専門職（保健・福祉・介護）と利用者との視点で実習し、将来、医師としてこれら専門職と連携して地域で働くための態度や基本的知識を身につけます。また、保健・福祉・介護サービスに関する現状、医療との関係、解決すべきことなどを学びます。さらに、他施設での実習結果を報告会で共有し、これらの学習した内容を深めることを目的とします。	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム の概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。 ・在宅療養と施設入所との関係について総合的な考察ができる。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できる。 ・地域医療に積極的に参加・貢献する必要性を説明できる。 	
授業の概要と計画	<p>授業は、講義、実習、グループワーク、成果発表の形式で実施されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 第1回：実習オリエンテーションについて 実習の目的・内容・事前連絡・注意事項（特に、身だしなみ等実習に望む態度）等を説明します。 第2回：介護施設と介護の仕組みについて 介護の歴史、介護施設の種類、介護制度の仕組み等を概説します。 第3回：認知症について 認知症のメカニズム、周辺症状、対応の仕方等を概説します。 ・実習 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームまたは老人保健施設で、予習レポートの学修課題に基づいて、実習を行います。 ・グループワーク <ul style="list-style-type: none"> 第1回：実習前に、施設の事前学修を行い、学修課題を明確にし、予習レポート作成を作成します。 第2回：実習後に、各人の学修内容を共有し、グループ全体で学修内容をまとめ、発表資料を作成します。 ・成果発表 <ul style="list-style-type: none"> 発表会において、学修内容のまとめを発表し、質疑を行い、その内容を深めます。 	
成績評価方法	平常点評価（講義ならびに実習の理解度等で評価）20%、予習レポート20%、実習担当者による学生評価20%、発表内容20%、実習レポート20%で評価する。	

<p>成績評価基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題が適切に設定できたか。 ・実習施設での経験を正確に理解できているか。 ・実習施設での経験から適切な気づきを導くことができたか。 ・実習のあと、学びたいことが明確に提示しているか。 ・実習施設での経験が共有され、適切に実習のまとめが発表できたか。 ・地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性について説明できるか。 ・在宅療養と施設入所との関係について総合的な考察ができるか。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できるか。
<p>履修上の注意 (関連科目情報)</p>	<p>特にありません。</p>
<p>事前・事後学修</p>	<p>参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。</p>

科目名：早期臨床実習Ⅱ（1単位）

項目名	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療教育学部門 特命教授 岡山 雅信
	連絡方法	TEL: 078-382-6732 E-mail: dcme@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命教授 河野 誠司
	役 職 氏 名	医学教育学分野 医学教育学部門 特命教授 石田 達郎
	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命准教授 小林 成美
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命教授 見坂 恒明
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命助教 隈部 綾子
授業のテーマ	学校保健及び福祉の専門職の活動および児童・生徒との関わりを通して、将来、医師としてこれら専門職と連携して地域で働くための態度や基本的知識を身につけます。また、保健・福祉・介護サービスに関する現状、医療との関係、解決すべきことなどを学びます。さらに、他施設での実習結果を報告会で共有し、これら学習内容の理解を深めます。	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム の概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。 ・医療、学校保健及び福祉との関係について総合的な考察ができる。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、学校教職員、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から学校現場に関わっていることを理解できる。 ・地域医療に積極的に参加・貢献する必要性を説明できる。 	
授業の概要と計画	<p>授業は、講義、実習、グループワーク、成果発表の形式で実施されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 第1回：実習オリエンテーションについて 実習の目的・内容・事前連絡・注意事項（特に、身だしなみ等実習に望む態度）等を説明します。 第2回：特別支援教育の現状について 特別支援教育に係る制度や対象、早期発見・支援のための仕組み等を概説します。 第3回：特別支援学校の実際について 特別支援学校の教員が、特別支援教育の現状ならびに活動について解説します。 ・実習 特別支援学校または養護学校で、予習レポートの学修課題に基づいて、実習を行います。 ・グループワーク <ul style="list-style-type: none"> 第1回：実習前に、特別支援学校の概要等を事前に学修し、学修課題を明確にし、予習レポート作成を作成します。 第2回：実習後に、各人の学修内容を共有し、グループ全体で学修内容をまとめ、発表資料を作成します。 ・成果発表 <ul style="list-style-type: none"> 第1回：実習前に、事前学修内容を発表し、議論を通して、学修課題を明確にします。 第2回：実習を通して学修した内容のまとめを発表し、質疑を行い、その理解を深めます。 	
成績評価方法	平常点評価（講義ならびに実習の理解度等で評価）20%、事前発表会内容15%、予習レポート15%、実習担当者による学生評価20%、発表内容15%、実習レポート15%で評価します。	

成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題が適切に設定できたか。 ・実習施設での経験を正確に理解できているか。 ・実習施設での経験から適切な気づきを導くことができたか。 ・実習のあと、学びたいことが明確に提示しているか。 ・実習施設での経験が共有され、適切に実習のまとめが発表できたか。 ・特別支援教育の概念を理解し、地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性について説明できるか。 ・特別支援学校と医療機関との関係について総合的な考察ができるか。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できるか。
履修上の注意 (関連科目情報)	特にありません。
事前・事後学修	参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。

開講科目名	臨床医学講義3				
担当教員	河野 誠司	開講区分		単位数	
		前期		14.0単位	
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード	1M941

授業のテーマ

クリニカルクラークシップを行うために、必要な臨床的知識や思考法の包括的な習得をめざす。

授業の到達目標

それぞれの臨床医学分野について系統的に学習するが、一般的な学習到達目標としては、以下である。

- 1) 基礎医学の知識に基づき、疾患の原因と病態生理を理解する。
- 2) 疾患の病態生理への理解を踏まえて、疾患の診断・治療・予防について理解し、それらの医学的プロセスに必要な検査法・医療技術について理解する。

授業の概要と計画

基本的に臓器別の系統講義形式で行われる。ただし、必要に応じて、講義形式に拘らず、実習形式・双方向性授業・小グループ学習なども取り入れる。

以下の臓器別の系統講義を行う。

- (1) 循環器 (循環器内科学・心臓血管外科学)、(2) 消化器 (消化器内科学、肝胆膵外科学・食道胃腸外科学、乳腺・内分泌外科学)、(3) 呼吸器 (呼吸器内科学、呼吸器外科学)、(4) 精神・神経 (神経内科学、脳神経外科学、精神神経科学)、(5) 糖尿病・内分泌内科学、(6) 腎・泌尿器 (腎臓内科学、泌尿器科学)、(7) 感染症内科学、(8) 免疫・臨床検査 (免疫内科学、臨床検査医学) (9) 腫瘍・血液 (腫瘍・血液内科学、緩和治療医学)、(10) 災害救急医学、(11) 放射線医学、(12) 小児 (小児科学、小児外科学)、(13) 産婦人科学、(14) 整形外科 (整形外科、リハビリテーション医学)、(15) 麻酔科学、(16) 皮膚科学、(17) 眼科学、(18) 耳鼻・形成・口腔 (耳鼻科学、形成外科学、口腔外科学)。

具体的な講義内容は未定。後日BEEFで案内します。

成績評価方法

授業取り組み状況 (30点) 並びに小テスト、最終授業時の筆記試験 (70点) の合計100点で評価を行う。各診療科は別紙のユニット1~4のいずれかに所属しており、ユニット単位で合否判定を行う。ユニット内の診療科の平均点数が60点未満の学生は不合格となる。不合格者への再試験は行わない。

成績評価基準

- 1) 基礎医学の知識に基づき、疾患の原因と病態生理を理解しているか。
- 2) 疾患の病態生理への理解を踏まえて、疾患の診断・治療・予防について理解し、それらの医学的プロセスに必要な検査法・医療技術について理解しているか。
- 3) 臨床医学の系統的学習を通して、医学的思考法を身につけているか。

履修上の注意 (関連科目情報)

特になし

事前・事後学修

自主学習を行い、幅広い知識を身につけておくこと。
本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

講義の前後もしくはサブユニット試験終了後に、各講義の担当教員が質問を受け付けます。掲示する時間割を参照してください。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

必要ある場合は、個別にお知らせします。

参考書・参考資料等

特になし

授業における使用言語

日本語

キーワード

令和3年度4年次臨床医学講義 ユニット一覧

科目名	ユニット	ユニット責任者	担当科	講義期間	
臨床医学講義3	ユニット3	腫瘍・血液内科 教授 南 博信	感染症内科	4/5~	4/9
			産科婦人科	4/12~	4/19
			歯科口腔外科	4/20~	4/23
			脳神経外科	4/26~	5/7
			腫瘍血液内科 先端緩和医療学	5/10~	5/24
			膠原病リウマチ内科 臨床検査医学	5/25~	5/31
			形成外科	6/1~	6/4
	麻酔科	6/7~	6/11		
	地域医療	6/14~	6/17		
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	6/18~	6/23		
	皮膚科	6/24~	6/30		
	小児科 小児外科	7/1~	7/8		
	眼科	7/9~	7/15		
			耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授 丹生 健一		

R3臨床医学講義時間割

	①10:10～11:10	②11:20～12:20	③13:20～14:20	④14:30～15:30
6月14日	<p>岡山雅信：オンデマンド 地域医療と地域社会</p>	<p>竹島太郎：オンライン 地域医療における臨床疫学 (地域での臨床の大切さ)</p>	<p>岡本秀樹：オンデマンド 地域医療の実際 (楽しさ・やり 甲斐) 1</p>	<p>白石吉彦：オンライン 地域医療の実際 (楽しさ・やり 甲斐) 2</p>
6月15日	<p>合田建：オンデマンド 総合診療/プライマリ・ケアと患者 中心のケア</p>	<p>元佐龍：オンライン 兵庫県の医療行政/地域包括 ケアの推進と地域医療構想</p>	<p>見坂恒明：オンデマンド へき地医療と医療格差(医師の 地域・診療科偏在等)</p>	<p>安田尚史：オンライン 地域における専門診療：高齢 者医療</p>
6月16日	<p>河野誠司：オンデマンド 地域包括ケアシステムと介護保 険</p>	<p>山崎峰夫：オンライン 産婦人科医からみたプライマリ・ ケア</p>	<p>合田建：オンデマンド 在宅ケアと多職種協働</p>	<p>岡山雅信：オンデマンド 総合診療医に求められるスキル</p>
6月17日	<p>見坂恒明：オンデマンド 地域医療活動を通じたまちづくり</p>	<p>石田達郎：オンデマンド 疫学・予防医学・生活習慣に関 連した疾患とその予防</p>	<p>野口縁：オンライン 保健活動・健康増進</p>	<p>筆記試験</p>

科目名：地域社会医学実習（1単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療教育学部門 特命教授 岡山 雅信
	連絡方法	TEL: 078-382-6732 E-mail: dcme@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命教授 河野 誠司
	役 職 氏 名	医学教育学分野 医学教育学部門 特命教授 石田 達郎
	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命准教授 小林 成美
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命教授 見坂 恒明
	役 職 氏 名	医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命助教 隈部 綾子
授業のテーマ	訪問看護・訪問診療の専門職種および利用者との関わりを通して、将来、医師としてこれら専門職と地域で働くための態度や基本的知識を身につけます。また、保健・福祉・介護サービスに関する現状、医療との関係、解決すべきことなどを学びます。さらに、他施設での実習結果を報告会で共有し、これらの学習した内容を深めることを目的とします。	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステム の概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。 ・ 在宅療養と施設入所との関係について総合的な考察ができる。 ・ 多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できる。 ・ かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身につける。 ・ 在宅医療・訪問看護を体験する。 ・ 地域医療に積極的に参加・貢献する必要性を説明できる。 	
授業の概要と計画	<p>授業は、講義、実習、グループワーク、成果発表の形式で実施されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 第1回：実習オリエンテーションについて 実習の目的・内容・事前連絡・注意事項（特に、身だしなみ等実習に望む態度）等を説明します。 ・ 実習 訪問看護ステーション、診療所等で、予習レポートの学修課題に基づいて、実習を行います。 ・ グループワーク 第1回：実習前に、実習施設の事前学修を行い、学修課題を明確にし、予習レポート作成を作成します。 第2回：実習後に、各人の学修内容を共有し、グループ全体で学修内容をまとめ、発表資料を作成します。 ・ 成果発表 発表会において、学修内容のまとめを発表し、質疑を行い、その内容を深めます。 	
成績評価方法	平常点評価（講義ならびに実習の理解度等で評価）20%、予習レポート20%、実習担当者による学生評価20%、発表内容20%、実習レポート20%で評価する。	

成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題が適切に設定できたか。 ・実習施設での経験を正確に理解できているか。 ・実習施設での経験から適切な気づきを導くことができたか。 ・実習のあと、学びたいことが明確に提示しているか。 ・実習施設での経験が共有され、適切に実習のまとめが発表できたか。 ・地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性について説明できるか。 ・在宅療養と施設入所との関係について総合的な考察ができるか。 ・かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力について考察できるか。 ・多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解できるか。
履修上の注意 (関連科目情報)	特にありません。
事前・事後学修	参考資料等を参照し、事前に学修内容を確認しておくこと。
オフィスアワー・連絡先	メール(dcme@med.kobe-u.ac.jp)にて随時受け付けます。
学生へのメッセージ	
今年度の工夫	
教科書	授業時に資料を配付する。
参考書・参考資料等	地域医療学入門（日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会監修、診断と治療社、2019、ISBN978-4-7878-2384-7）
授業における使用言語	
キーワード	地域医療、総合診療、在宅ケア、地域包括ケアシステム、訪問看護、多職種協働
参考URL	

科目名：関連病院実習（4単位）

区 分	内 容	
学習指導教員	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命教授 河野 誠司
担当教員	役 職 氏 名	附属病院総合臨床教育センター 特命准教授 小林 成美
	役 職 氏 名	内科学講座 総合内科学分野 助教 乙井 一典
	役 職 氏 名	外科学講座 肝胆脾外科学分野 特命教授 柳本 泰明
授業のテーマ	これまでの臨床実習などの学修にて獲得した知識、技能、対人スキルを活かして、地域の病院において、継続して診療に参加することにより、コモンな疾患・病態の患者ケアを実践し、臨床能力のさらなる向上をはかる	
授業の到達目標	<p>神戸大学医学部医学科コンピテンシ I、III、IV の下記コンピテンシー項目を主な学習目標とする（BSLと関連病院実習で共通）。</p> <p>I-1 医師としての責任感を持ち、謙虚に自らを律して行動する。</p> <p>I-2 医師としての業務に限らず、医師・医療人としての責務および社会からの期待を意識し適切に行動する。</p> <p>III：知識と技能「基礎と臨床のバランスのとれた知識をもち、的確な臨床推理能力を有している。病態を理解し、それに即した基本的技能を修得している。</p> <p>III-4 人間の生涯にわたる行動と心理の特性を理解し、適切な対応と医療を提供できる。</p> <p>III-5 国民皆保険の意義を理解し、保険診療に関する法令に従って、医療の経済性に配慮しながら診療を行うことができる。</p> <p>III-6 高頻度または重要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・診断・治療・予後の知識を修得し、適切な診療ができる。エビデンスを吟味し臨床判断に応用できる。</p> <p>III-7 患者の立場を尊重し、病歴を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行う。</p> <p>III-8 網羅的に系統立てて効率的な身体診察を行い、所見を認識・記録し、適切な鑑別診断を行う。</p> <p>III-9 基本的な臨床技能について、適応、実施方法、合併症等を理解し、適切な態度でこれを安全に実施できる。</p> <p>III-10 患者の苦痛や感情に配慮しながら、患者と家族に対して誠実で適切な支援を行う。</p> <p>III-11 診療録についての基本的な知識を修得し、問題志向型診療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。</p> <p>III-12 患者の病状、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と情報共有が出来る。</p> <p>III-13 緊急を要する病態や疾病・外傷の基本的知識を修得し、医療チームの一員として救急医療に参画する。</p> <p>III-14 慢性疾患の病態・経過・治療を理解し、医療を提供する場や制度に応じて、医療チームの一員として慢性期医療に参画する。</p> <p>III-15 医療関連感染の予防対策を実践し、発生時の初期対応ができる。</p> <p>III-16 医療における患者や医療者の安全を守るために、個人的・組織的な対応ができる。</p> <p>III-17 組織や自身が実施している医療の質や安全管理について常に振り返り、その改善と向上を図る。</p> <p>IV-1 医療人としての倫理に関する基本的な知識を修得し、社会の変遷を踏まえつつ、常に自己の行動を律することができる。</p> <p>IV-3 医療者として常に利益相反が生じる可能性を認識し適切に対処できる。患者のプライバシーを尊重し守秘義務を果たす。</p>	
授業の概要と計画	<p>神戸大学医学部附属病院関連病院を実習施設として、8週間の関連病院実習を行う。患者さんの入院から退院までの診療のサイクルをじっくり体験するため、単一診療科で最低4週間の実習を行う。なお、実習診療科については、下記 i～iii のいずれかとする。</p> <p>i 内科4週間＋内科4週間（異なる診療科（内科）で実習）</p> <p>ii 内科4週間＋外科4週間</p> <p>iii 外科4週間＋内科4週間</p> <p>実習の形式として、医学教育モデルコアカリキュラムで推奨されている「診療参加型実習」を取り入れる。</p> <p>臨床実習の内容は、診療参加型実習を基本として実習先のプログラムにまかされている。診療への参加、診療録の記載、症例プレゼンテーション、病歴要約（外科では手術記録も）、の記載を必須とする。</p>	
成績評価方法	実習先病院の指導医が、実習評価表と病歴要約評価表を用いて評価する。	

令和3年度関連病院実習 実習先病院・診療科 一覧

病院番号	病院名	診療科番号	診療科
1	神戸労災病院	1	循環器内科
		2	消化器内科
		3	総合内科
		4	外科(消化器外科)
		5	心臓血管外科
2	神戸市立医療センター西市民病院	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	消化器内科
		4	糖尿病内分泌科
3	神戸医療センター	1	循環器内科
		2	呼吸器内科
		3	消化器内科
		4	糖尿病内科
		5	内科
		6	外科
4	川崎病院	1	総合診療科
5	新須磨病院	1	内科
6	兵庫県病院	1	循環器内科
		2	消化器内科
7	神戸百年記念病院	1	内科
		2	外科
8	三菱神戸病院	1	一般内科
		2	外科(消化器外科)
9	甲南医療センター	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	消化器内科
		4	内科・糖尿病内科
		5	腫瘍・血液内科
		6	呼吸器内科
		7	脳神経内科
		8	外科(消化器外科)
10	西宮市立中央病院	1	循環器内科
		2	呼吸器内科
		3	消化器内科
11	三田市民病院	1	循環器内科
		2	消化器内科
		3	外科
12	兵庫中央病院	1	消化器内科
		2	糖尿病内科
		3	脳神経内科
13	高砂市民病院	1	内科
		2	外科

病院番号	病院名	診療科番号	診療科
14	加古川中央市民病院	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	呼吸器内科
		4	消化器内科
		5	糖尿病・代謝内科
		6	脳神経内科
		7	腫瘍・血液内科
		8	総合内科
		9	リウマチ・膠原病内科
		10	外科/消化器外科
		11	心臓血管外科
		12	乳腺外科
		13	呼吸器外科
		14	小児外科
15	兵庫県立加古川医療センター	1	循環器内科
		2	消化器内科
		3	糖尿病・内分泌内科
		4	リウマチ科
		5	外科・消化器外科
16	明石医療センター	1	内科
		2	外科(消化器外科)
		3	心臓血管外科
17	西脇市立西脇病院	1	総合内科
		2	外科
18	北播磨総合医療センター	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	呼吸器内科、血液・腫瘍内科
		4	消化器内科
		5	総合内科、老年内科、糖尿病・内分泌内科
		6	脳神経内科
		7	外科
		8	心臓血管外科
19	市立加西病院	1	内科
		2	外科(消化器外科)
20	製鉄記念広畑病院	1	内科
		2	外科
		3	呼吸器外科
		4	乳腺外科
21	兵庫県立姫路循環器病センター	1	循環器内科
		2	糖尿病内分泌内科
		3	脳神経内科
		4	外科
		5	心臓血管外科
22	姫路医療センター	1	内科(呼・消)
23	姫路聖マリア病院	1	内科
		2	外科

令和3年度関連病院実習 実習先病院・診療科 一覧

病院番号	病院名	診療科番号	診療科
24	赤穂市民病院	1	循環器科
		2	消化器内科
		3	内科
		4	総合診療科
25	公立大栗総合病院	1	内科
26	公立豊岡病院	1	循環器内科
		2	総合診療科
27	公立八鹿病院	1	内科
		2	外科
28	兵庫県立丹波医療センター	1	内科
29	高槻病院	1	循環器内科
		2	呼吸器内科
		3	消化器内科
		4	糖尿病内分泌内科
		5	総合内科
		6	外科(消化器科・一般外科)
		7	心臓血管外科
		8	呼吸器外科
		9	小児外科
		10	乳腺外科
30	市立岸和田市民病院	1	呼吸器内科
		2	消化器内科
		3	代謝・内分泌内科
		4	血液内科
		5	緩和ケア内科
		6	外科
		7	呼吸器外科
		8	心臓血管外科
31	中津病院	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	消化器内科
		4	老年内科
		5	膠原病内科
		6	外科・消化器外科
		7	心臓血管外科
32	日本生命病院	1	消化器内科
33	千船病院	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	消化器内科
		4	糖尿病内分泌内科
		5	呼吸器内科
		6	外科
34	茨木病院	1	腎臓内科
		2	消化器内科
		3	糖尿内科
35	神戸赤十字病院	1	循環器内科
		2	呼吸器内科
		3	消化器内科
		4	外科(消化器外科)
		5	心臓血管外科

病院番号	病院名	診療科番号	診療科
36	神戸中央病院	1	循環器内科
		2	腎臓内科
		3	呼吸器内科
		4	消化器内科
		5	糖尿内科
		6	血液内科
		7	総合内科
		8	外科
37	兵庫県立がんセンター	1	消化器内科
		2	血液内科
		3	腫瘍内科
		4	消化器外科
		5	乳腺外科
		6	呼吸器外科
38	兵庫県立淡路医療センター	1	循環器内科
		2	呼吸器内科
		3	消化器内科
		4	血液内科
		5	外科(消化器外科)
		6	心臓血管外科
39	姫路赤十字病院	1	消化器内科
		2	血液内科
		3	膠原病内科
		4	外科
		5	小児外科
40	吹田病院	1	消化器外科
41	淀川キリスト教病院	1	消化器内科
		2	循環器内科
		3	脳血管神経内科
		4	糖尿病・内分泌内科
		5	腫瘍内科
		6	血液内科
		7	リウマチ膠原病内科
		8	外科
		9	心臓血管外科
		10	小児外科
		11	呼吸器外科
		12	乳腺外科
43	兵庫県立こども病院	1	心臓血管外科
		2	小児外科
44	住友病院	1	心臓血管外科
		2	呼吸器外科
45	西宮渡辺心臓脳・血管センター	1	循環器内科
		2	心臓血管外科
46	兵庫県立西宮病院	1	腎臓内科
		2	消化器内科
		3	外科

開講科目名	個別計画実習				
担当教員	河野 誠司	開講区分		単位数	
		通年		18.0単位	
ナンバリングコード		曜日・時限	他	時間割コード	1M963

授業のテーマ

学生の自主性を重んじ、学生が主体的に考えた実習計画に沿った形で実施するものである。臨床実習のみならず研究室や海外での実習も対象とし、個々の学生に対して臨床系の教授または准教授がチューターとなり、その実習計画の内容を吟味し指導を行う。

授業の到達目標

- ・医療チームの一員として診療に積極的に参画するクリニカル・クラークシップにより深い知識や診察スキルを習得し、卒後研修につながる臨床能力を獲得することを目標とする。
- ・海外の実習では、外国での臨床実習または研究を通じて、異文化交流を深め、国際的な視野を獲得することを目標とする。
- ・研究実習では、基礎研究に加えて臨床研究も対象とし、最先端の医学に触れ、サイエンスへの探究心を育むことを目標とする。

学内の診療科における実習の到達目標については、配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。

授業の概要と計画

実習期間を大きく次の3つの期間（実習期）に分ける。

【第Ⅰ期】令和3年 4月 5日（月）～ 5月21日（金）

【第Ⅱ期】令和3年 6月 7日（月）～ 7月23日（金）

【第Ⅲ期】令和3年 8月30日（月）～10月15日（金）

原則として実習期ごとに異なる実習目的（実習分野）を掲げることとし、各期において設定した実習目的に基づき、個々のチューターと相談しながら実習計画を策定・実施する。各期において実習報告日を設け、実習状況を報告・確認するとともに、全実習終了時には実習内容に関する発表会を行う。

学内の診療科における実習内容については、配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。

成績評価方法

各実習先が成績評価基準に基づいて評価表を提出し、チューターが実習成果を合否で総合評価する。

成績評価基準

- ・医療チームの一員として診療に積極的に参画するクリニカル・クラークシップにより深い知識や診察スキルを習得し、卒後研修につながる臨床能力を獲得できたか。
- ・海外の実習では、外国での臨床実習または研究を通じて、異文化交流を深め、国際的な視野を獲得できたか。
- ・研究実習では、基礎研究に加えて臨床研究も対象とし、最先端の医学に触れ、サイエンスへの探究心を育めたか。

履修上の注意（関連科目情報）

配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。

事前・事後学修

自主学習を行い、幅広い知識と技能を身につけておくこと。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

チューターと各自連絡をとること。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

実習に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。

参考書・参考資料等

特になし

授業における使用言語

日本語

キーワード



05
神戸大学
地域医療計画等

(公 印 省 略)
医 第 1 7 8 7 号
令 和 3 年 8 月 19 日

厚生労働省医政局長 様

兵庫県知事 齋藤 元彦

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和3年8月16日付け3文科高第501号、医政発0816第9号に基づき、下記のとおり、令和4年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等を含めた本県の保健医療計画に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

16名

- ・兵庫医科大学医学部における地域枠：2名
- ・神戸大学医学部における地域枠：10名
- ・岡山大学医学部における地域枠：2名
- ・鳥取大学医学部における地域枠：2名

担当：健康福祉部健康局医務課医療人材確保班 花光
電話番号：078-341-7711 (内線3230)

令和4年度
医学部入学定員増員計画

神大企第24号
令和3年8月25日

文部科学省高等教育局長 殿

神戸大学長
藤澤 正人
(公印省略)

「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医学部学務課長 浦田 勇二
	TEL	078-382-5205
	FAX	078-382-5215
	E-mail	kyomu1@med.kobe-u.ac.jp

大学名	国公立
神戸大学	国立

1. 現在(令和3年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
112	5		697



(収容定員計算用)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
(ア)入学定員	112	112	112	112	112	112	672
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員							0
計	117	117	117	117	117	112	697

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和4年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	5		625



(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	100	100	100	100	100	100	600
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員							0
計	105	105	105	105	105	100	625
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和4年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
112	5		637



(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	112	100	100	100	100	100	612
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員							0
計	117	105	105	105	105	100	637
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 12



(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	10
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	2
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	
計	12

2. 研究医養成のための入学定員増について

増員希望人数 2

(1) 令和4年度研究医養成のための入学定員増について 大学が講ずる措置

※令和3年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

1. コンソーシアムの形成

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとにご記入ください。

	連携大学	取組の概要(1～3行程度)	(連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合) 連携大学との役割分担(※1)	開始年度
No.1 関西リトリート	関西医科大学、大阪医科大学、兵庫医科大学、奈良県立医科大学、兵庫医科大学	毎年1回一泊二日で交流のリトリートを開催し、また毎年数回にわたる教員同士の意見交換のためのミーティングを開催している。これまでは、各大学の養成コースのプログラム構成と課題について意見交換を行い、それを各大学に持ち帰って、各大学の養成コースを最適化する、というプロセスで連携を行ってきた。		H28
No.2 全国リトリート	東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学など	平成29年12月に神戸で開催された全国リトリートでは8名の神戸大学医学部生が参加し、優秀ポスター演題賞も受賞している。		H29
No.3				

(※1) 過去に研究医枠により入学定員増を実施したことがない大学のみご記入ください。過去に研究医枠による増員を行った大学については、当該欄は記入不要です。

2. 特別コース(※)の設定

(※)「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和3年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和4年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

(選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み(MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など)

学部においては、1年次の「新医学研究コース」、2年次の「基礎配属(参考:記入例)

実習1、2)を始めとして3～6年次で「医学研究1～4」を設定し、シームレスな研究指導により6年間の医学教育の中で一貫したリサーチマインドの涵養を行っている。

学部・大学院で一貫した研究を促すため、①4年生(または5年生)終了後に大学院に進学することにより早期の博士号取得が可能な

「MD-PhDコース」、②卒業臨床研修を受けながら大学院での研究を開始し学部教育・臨床研修・大学院進学のスムーズな接続を可能とする「大学院・早期研究スタートプログラム」を用意している。

■を新たに開始するなど、～を図ることとしている。

△、□を行って、またキャリア支援として、～を実施している。令和4年度からは、

△、□を行って、またキャリア支援として、～を実施している。

■を新たに開始するなど、～を図ることとしている。

②研究医養成のための一貫した特別コースについて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

選抜の時期 (※1)	コースの名称	年次	募集定員 (※2)	大学院への進学時期 (※3)	開始年度	備考
選抜入試						
○ 特定の学年次に希望者を募集	MD-PhDコース	4年生または5年生	3名以内	5年または6年(MD-PhDコース)	H25	
○ 特定の学年次に希望者を募集	大学院・早期研究スタートプログラム	5年生または6年生	2名以内	卒業、臨床研修と並行して進学(研修医2年目より)	H29	
○ その他(備考欄に詳細を記入)						

(※1)複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。

(※2)最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。

(※3)特別コースの学生の学生の大学院進学時期について全てご記載ください。(例:5年次(MD-PhD)／卒業直後に進学／卒業、臨床研修後に進学／卒業、臨床研修と並行して進学)

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

研究医養成のために特別な入試を実施しているか。	×
-------------------------	---

(「○」を選択した場合)以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	募集人数		選抜方法(※1)	開始年度	備考
		うち臨時定員分				
合計		0	0			

(※1)貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

④研究医養成のための教育内容(正規科目)について、以下をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実 習の別	単位数	開始年度
			必修 研究医コ ース学 生	選択 その 他の 学 生			
1年	新医学研究 コース	全員	選択	選択	実習	2	H21以前
2年	基礎配属実習	全員	必修	必修	実習	4	H21以前
2年	基礎配属実習	全員	選択	選択	実習	1	H26
3年	医学研究コ ース1	全員	必修	選択	実習	4	H24
4年	医学研究コ ース2	全員	必修	選択	実習	4	H24
5年	医学研究コ ース3	全員	必修	選択	実習	4	H24
6年	医学研究コ ース4	全員	必修	選択	実習	4	H30

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。(研究医コース学生の希望者のみの場合は、対象者を「研究医コース学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。)
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑤大学の正規科目以外で、研究医養成プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)		開始年度
				必修/選択の別	単位数	
3年~6年	基礎医学ゼミ	研究医コ ース学 生	月1回	必修	4	R1
3年~6年	基礎・臨床融 合による基礎 医学研究医の 養成プログラ ム研修会	研究医コ ース学 生	年1回	必修	4	H24
3年~6年	関西5医科大 学研究医養成 コンソーシアム	研究医コ ース学 生	年1回	必修	4	H28
3年~6年	全国リトリート	研究医コ ース学 生	不定期	必修	4	H29

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。
 (項目: 専用の入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようするための配慮、研究医となった際の常勤ポストの確保、海外での研修の機会(1か月以上))

(項目)	概要(1~2行程度)	開始年度
学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置	履修生各自が、希望する学会などの参加を事前に申請する。その際、積極的な参加を促す為、必要な旅費、宿泊費、参加費(大学規程による)の支援を行っている。	H24
学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築	基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成プログラム研修会、関西5医科大学研究医養成コンソーシアム合宿、基礎医学ゼミ(月1回)等で口頭発表会などの機会を設けている。	H24
臨床研修により研究活動が中断されることのないようするための配慮	1年目は通常通り臨床研修を受ける。2年目は博士課程大学院1年次生として研究をしながら臨床研修を受け、同年で臨床研修を修了、以後3年間は研究活動に専念する。本研究科指導教員と附属病院総合臨床教育センターとの連携により、充実した初期臨床研修を行うことが可能である。	R2
研究医となった際の常勤ポストの確保	基礎医学研究医養成プログラム特待生(研究医特待生)について、令和3年度現在3名(①博士課程1年(研修医2年目)、②研修医1年目、③6年次)在籍しており、①については順調に行けば4年後に博士課程修了となる。その時点で、研究を継続するための研究ポストを検討している。	R7(予定)
海外での研修の機会(1か月以上)	6年次個別計画実習において、海外の研究をする機会を希望があれば認めている。(最大14週)	H21以前

※入力規則により左表に入力できないため欄外に記載

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦上記②~⑥以外に、研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和3年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

人数(名)	R1	R2	R3	直近3年間の平均
	13	13	25	17

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

3. 奨学金の設定

① 卒業後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。
複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

名称	設定主体 (例: 大学、 〇〇財団)	給付/貸与 の別	支給対象	募集人数	選抜の有無 (例: 大学院1~3年次(3年 間))	支給期間 (例: 学部5年、6年(2年間))
No.1 神戸大学基礎 医学研究医育 成奨学金	神戸大学	給付	特別コース生のみ	2	有	学部5年、6年(2年間)
No.2						
No.3						

(続き)

	支給額 (例: 200,000)		返選免除要件	開始年度	備考
	月額	総支給額			
No.1	20,000	480,000 240,000 (6年次からコース を選択した場合)	受給者が医学研究科博士課程を修了し、奨学金 給付期間と同等の期間、基礎医学研究に従事す ること(ただし、博士課程修了後、5年以内に基礎 医学研究に従事できない場合若しくは従事するこ とを辞退した場合を除く)。		
No.2					
No.3					

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

(2) 研究医養成拠点として相応しい実績

①-1. 継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(入学年度)	R1	R2	R3	直近3年間の平均
基礎・社会系大学院進学者数【(A)】	16	11	7	11.333333333
臨床系大学院進学者数【(B)】	94	95	95	94.666666667
(博士課程修了年度)	H30	R1	R2	直近3年間の平均
【A】の修了者数【(C)】	1	0	1	0.666666667
【B】のうち、基礎・社会学系の論文(又は共著論文)を執筆した修了者数【(D)】	17	9	24	16.666666667
合計	18	9	25	17.333333333

①-2. その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

②-1. 継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(博士課程修了年度)	H30	R1	R2	直近3年間の平均
【(D)】のうち、基礎・社会学研究分野の就職者数	0	0	0	0
【(D)】のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数(※1)	4	2	9	5
合計	4	2	9	5

(※1) 一度臨床系(基礎系以外)に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。
 (例) 臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者)

②-2. その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

③ 大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等

※ 必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

採択事業名	採択年度 (○年度～ ○年度)	概要(1～3行程度)
「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバル未来医療研究人材養成拠点形成事業(代表島根大)	(平成24～28年度) (平成25～29年度)	医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成 総合診療医育成事業

④ 他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績(科学研究費採択率等)

※ 必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

概要(1～3行程度)
研究者が所属する研究機関別 採択件数 神戸大学 11位(令和2年度) 科学研究費助成事業新採択件数 生体の構造と機能 国立大学8位, 内科学 国立大学7位, 生体情報内科学 国立大学8位

(3) 過去に研究医枠による入学定員増を実施した場合の令和3年度における状況

① 過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。

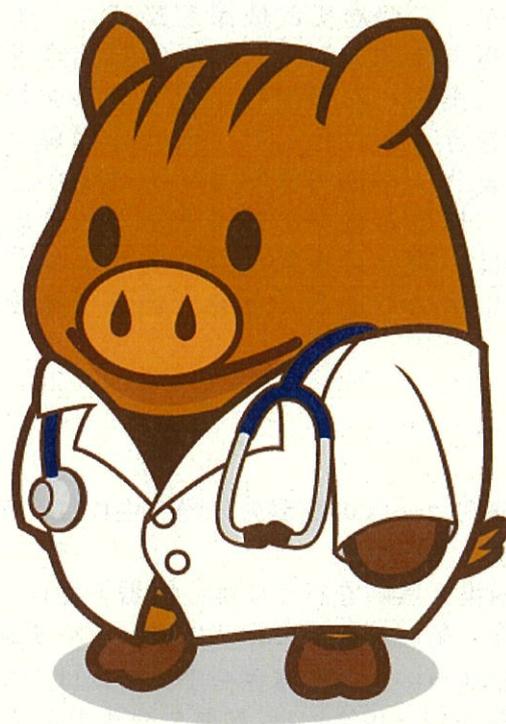
(例: 第三者による評価、学内委員会による評価)

入学定員増加により、医学部在学生時代に質の高い研究をする学生が増えていること、また基礎系大学院への進学者数も増加していることは明らかである。 * 履修人数の増加(平成24年度8名、令和3年度46名) * 履修生の変異数(各種学会最優秀発表賞7名・学長賞2名など)の増加 * 基礎医学研究医養成プログラム特待生(研究医枠特待生)の選出(2名)、令和3年度に博士課程進学 * MD-PhDコース履修生(1名、令和5年度博士課程入学)
--

令和3年度 新医学研究コース ガイドライン



気になること
メールで何でも
聞いてみよう！



「新医学研究コース」のご案内

全国医学部の中でも、有数の難関を突破して神戸大学医学部医学科に合格した皆さん、おめでとうございます。医学に高い関心を持っている皆さんに、大学人らしい有意義な大学生活を送っていただくために、神戸大学医学部医学科基礎医学講座は、平成9年度より「新医学研究コース」を開設いたしておりますので、ご案内いたします。

これは、神戸大学医学部が患者さんの悩みを聴き、診断・治療に貢献する高い志を持った医師を育てるというのみでなく、将来の日本の医学を支える一流の医学研究者を育てることを、教育研究機関としての大学の一つの責務であると考えからであります。

この研究者の養成という事に関しては、神戸大学医学部は全国に先駆けて「基礎配属実習」を導入し、数々の成果を上げてきました。この「基礎配属実習」は今では全国多くの大学で実施されており、神戸大学の試みは歴史的に高く評価されております。この歴史的成果を踏まえ、平成9年度より開設された新医学研究コースは、空き時間を利用し、医学研究室を学生に開放し、研究室研修を行い、実際に研究（実験）に参加し、研究成果を挙げる事を目的としております。

このことをきっかけとして、研究を指導する教員や、大学院生と親しくなるチャンスも生まれ、将来の医学者・医師像がより鮮明になり、多様化する現在の価値観の中で、皆さん自身の未来も描かれるのではないかと考えております。研究による喜びは、現代の多様な刺激的なエンターテイメントが与えてくれる快樂では得られないものであることを、自身で体験していただけたらと思います。

注意事項

- ※ 新医学研究コースの配属先分野の中には、学生が遺伝子組換え実験を行う分野があります。
遺伝子組換え実験を行うには、講習を受け、試験に合格する必要がありますので、その際は、配属先教員の指示に従い、必ず講習を受講してください。
- ※ 新医学研究コースの配属先分野の中には、学生が動物実験を行う分野があります。
動物実験を行う場合には、配属先教員の指示に従い、必ず講習を受講してください。

新医学研究コース 2単位

【授業のテーマ】

大学入学初期より基礎医学研究に触れ、早くから生命科学に親しむことを目的とする。

【授業の到達目標】

空き時間を利用して基礎医学研究室を訪問し、教員や研究員と交流するとともに、入門的な実験を実際に行うことにより、基礎医学研究を体験する。

【授業の概要と計画】

本コースは、入学後1年間実施する選択科目で、開講する曜日、時限等は特に定めず、カリキュラムの空き時間、放課後、長期休暇期間などに指導教員の方針にあわせ適宜実施する。学生は、各教育研究分野（16分野）のいずれかの希望する教育研究分野に配属され上記の期間内に、実験（見学、実験補助なども含まれる）、セミナー、抄読会等に参加する。

入学直後の適当な日に新医学研究コースを担当する教員による説明会を行う予定である（日時・場所については別途通知する）。この説明会により、各教育研究分野の研究内容や指導方針を確認することができる。

【成績評価方法】

実験（見学、実験補助なども可）、セミナー、抄読会等への主体的な参加及び活動報告書に基づいて各指導教室担当者が成績判定をする（通常の科目と同様に100点満点で採点）。

【成績評価基準】

各教育研究分野において定めた指導方針に基づいて判定する。

【履修上の注意（関連科目情報）】

学生は合同説明会、冊子、インタビュー、ホームページ等の情報をもとに第1志望から第12志望までの希望教室名を記入した履修申請書を医学科教務学生係に提出する。志望者が教室の受け入れ可能人数を超える場合は、第2希望以降の教育研究分野に回る可能性がある。

新医学研究コースの配属先分野の中には、学生が遺伝子組換え実験や動物実験を行う分野がある。その場合は、配属先教員の指示に従い、必ず講習を受講すること。

【事前・事後学修】

各教育研究分野において指導教員に確認すること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

【オフィスアワー・連絡先】

各分野の連絡先は新医学研究コースガイドライン（冊子）で確認すること。

【学生へのメッセージ】

このコースは、少人数グループで行われるので、指導教員や大学院生と親密な交流が生まれることが期待される。これは、みなさんの将来の医師像、医学者像をイメージするのにきつと役に立つ。また、生物学等の医学の基礎となる科目を履修する際に、各講座・教育研究分野の指導教員は優れたチューターとなるだろう。是非、いずれかの講座・教育研究分野を選び、生命科学の基礎を早めに学習し、有意義な教養科目履修期間を送ろう。

【教科書・参考書・参考資料等】

進める研究内容に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。

付録 2

新医学研究コース実施要綱 (平成 20 年 3 月 21 日 教務学生委員会)

1. 目的

大学入学初期より基礎医学研究に触れ、早くから生命科学に親しむことを目的とする。

2. 実施責任者

基礎系講座から選出された教務学生委員長あるいは副委員長は、新医学研究コース実施責任者（以下実施責任者という）として、コース全般の運営に関して責任をもつ。実施責任者は、新入生ガイダンスにて、新医学研究コースについてその概要を説明する。またコース全般の運営に関して責任をもつ。

3. 教室担当者

基礎系各教室に 1 人、新医学研究コースに関する教室責任者（以下教室担当者とする）をおく。教室担当者は原則として准教授以上とする。

4. 冊子の作成, 合同説明会, インタビュー

実施責任者は、教室担当者にアンケートを配布して、各教室の研究テーマ、受け入れ可能学生数、学生の指導方針等の情報を盛り込んだ冊子を新入生ガイダンスまでに作成する。また新入生ガイダンス時、あるいはその直後の適当な日に教室担当者による合同説明会を行う。学生は、合同説明会から履修申請書提出期限までの期間に、興味のある教室の研究内容、受け入れ人数、指導方法などについて具体的な疑問があれば、各教室を随時訪問し、教室担当者とインタビューすることができる。また電子メールによる質問も可能である。

5. 教室への振り分けと履修届

学生は合同説明会、冊子、インタビュー、ホームページ等の情報をもとに 4 月末までに、第 1 志望から第 5 志望までの希望教室名を記入した履修申請書を医学部学務課教務学生係に提出する。志望者が教室の受け入れ可能人数を超える場合は、研究室の教室担当者によって受け入れ学生を決定する。志望した研究室に受け入れられなかった学生は、受け入れに余裕のある研究室の教室担当者とインタビューし、配属されることが出来る（第 1 回の配属決定から 1 週間以内）。実施責任者は履修申請状況及び受け入れ状況について事務及び各教室担当者から報告を受けた結果をまとめ、最終的な配属決定をおこない、教務学生係に連絡する。

6. 単位の認定

実験（見学、実験補助なども可）、セミナー、抄読会等への主体的な参加及び活動報告書に基づいて各指導教室担当者が成績判定をする（通常の科目と同様に 100 点満点で採点）。

令和3年度

基礎配属実習ガイドライン

神戸大学医学部医学科

本冊子は2年次後期の実習が
終了するまで
必ず手元に保管ください。
巻末2枚の実習時間記録簿
(基礎配属実習1ならびに2)は
実習期間に必要となります。



令和3年度基礎配属実習1・2実施方針

【基礎配属実習1】

1. 単位 : 4単位

2. 実習期間: 基礎配属実習1は2年次後期の最初の4週間(10月第1週目から4週間)

3. 実習内容:

基礎配属実習1の実習従事時間数は最低120時間を目標とする。但し、自宅学習を含めるなど、柔軟な対応を可能とする。実習時間記録簿に実習従事時間数を記録し、適宜指導教員の検認を受ける。

実習の際は、医学研究の感染防御に配慮した実習運営の方針(別紙)を遵守し、研究室が密の状態にならないよう、分散登校、webを用いた遠隔実習、課題等を与えるなど、感染防御に努める。研究室の立ち入りは1日1回とし、午前のみもしくは午後のみとする。各分野ごとに決められた実習到達目標を満たしたうえで、4週間の実習内容について実習報告書を作成し、指導教員に提出する。

4. 配属方法:

- 1) 研究室紹介動画および基礎配属実習ガイドラインにより実習内容等を提示し、学生の希望により配属先を決定する。希望者が多い場合は、希望者の成績や面談の結果等を踏まえて受入学生を決定し、希望分野から漏れた場合は、他分野に抽選等により配属を決定する。
- 2) 基礎配属実習1を終えた後、学生は配属先分野担当教員と相談のうえ、基礎配属実習2(プレコース)を履修するかを選択する。

5. 配属先研究分野の変更

基礎配属実習1においては配属先研究分野を変更することは出来ない。

【基礎配属実習2(プレコース)(選択科目)】

1. 単位 : 1単位

2. 実習期間: 基礎配属実習1終了から2年次末までとする。

3. 履修要件

- ①基礎医学教育に関わる研究分野の中から1名の指導教員を選び、1つのテーマについて実験的研究指導を受ける。
- ②実験に従事する総時間数は2年次末までに最低30時間行わなければ、履修要件を満たさないものとする。
- ③学生は実習時間記録簿に実験従事時間数を記録し、適宜指導教員の検認を受ける。
- ④分野ごとに決められた実習到達目標を満たしたうえで、プレコース期間中の実習報告書を作成し、指導教員に提出しなければならない。

注:春休み期間や土日の実験に関しては指導教員が認めたものであれば実験従事時間数に含めることができる。

4. 配属方法

基礎配属実習1における配属先研究分野と異なる分野を基礎配属実習2(プレコース)で選ぶことができる。

成績評価方法

1)基礎配属実習1

- ①各分野において課せられた評価科目について形成的評価を行い、実習到達目標を満たさなければならない。
- ②実験従事時間数は最低120時間を満たさなければならない。
- ③実習報告書を作成し、11月10日(水)までに必ず指導教員に提出する。実習報告書はA4版2枚以上とする。
- ④評価は指導教員が実習期間中の研究態度と成果を総合して成績を判定する。

2)基礎配属実習2(プレコース)

- ①各分野において課せられた評価科目について形成的評価を行い、実習到達目標を満たさなければならない。
- ②実験従事時間数は最低30時間を満たさなければならない。
- ③2年次末までに基礎配属実習2期間中の実習報告書を指導教員に提出する。実習報告書はA4版2枚以上とする。様式については特に定めない。
- ④評価は指導教員が実習期間中の研究態度と成果を総合して成績を判定する。

進級要件

基礎配属実習1において実習評価を不可と判断された場合、3年次への進級はできない。

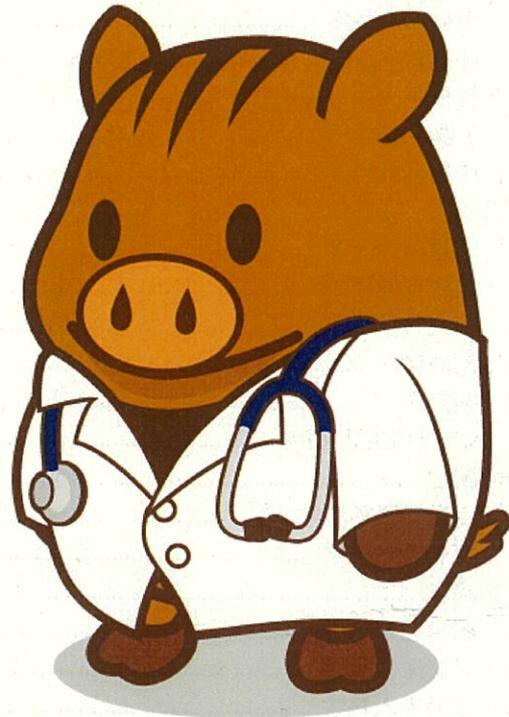
令和3年度

医学研究要項

基礎系、臨床系
(内科・外科) 講座あります



気になること
何でもメールで
聞いてみよう!



選択科目 医学研究（１）、同（２）、同（３）、同（４）実施指針

1 科目の概要

平成 22 年に改訂された「医学教育モデル・コア・カリキュラム」では、研究室配属などにより学生段階からの研究志向の涵養や、学生の興味や将来の専門分野への志向に応じて選択性のあるカリキュラムを用意することが重要であると指摘している。現在、2 年次後期からに必修科目として「基礎配属実習 1（4 単位）」が配当されているが、この実習は 必修科目 であり「大学独自の研究志向を涵養する 選択的カリキュラム」ではない。そこで基礎配属実習に引き続いて、長期にわたって研究を行うことを希望する学生を対象として、3 年次、4 年次、5 年次、6 年次にそれぞれ医学研究（１）、医学研究（２）、医学研究（３）、医学研究（４）の 4 科目を 選択科目 として新たに設定する。この選択科目は、学生の希望に基づいて基礎系、臨床系を問わず各教育研究分野に学生を配属させ、高いレベルの医学研究に従事するものとする。単位認定に当たっては、最低実習従事時間数をクリアするとともに、学年終了時に研究レポート提出や発表を義務付けることにより、各指導教員が合否判定を行うこととする。

- 2 単位 「医学研究（１）（3 年次通年、4 単位）」
「医学研究（２）（4 年次通年、4 単位）」
「医学研究（３）（5 年次通年、4 単位）」
「医学研究（４）（6 年次通年、4 単位）」

3 配属方法

各教育研究分野の実施方針を示した「医学研究（１）、（２）（３）、（４）」医学研究要項（冊子体）を学生に配布するとともに、医学研究科ホームページ、シラバス等を用いて本選択科目について学生に十分に周知する。学生は、医学研究（１）については 3 年次前期、医学研究（２）については 4 年次前期、医学研究（３）については 5 年次前期、医学研究（４）については 6 年次前期のそれぞれ開始 1 ヶ月以内に、所定の申請書を学務課医学科教務学生係に提出する。申請する際には、あらかじめ配属を希望する教育研究分野の指導教員の内諾を必要とする。

4 成績評価方法

- ① 1 単位あたり 30 時間の実習従事時間を満たさなければならない。したがって医学研究（１）、（２）、（３）、（４）それぞれ、120 時間、120 時間、120 時間、120 時間を最低実習従事時間数とする。履修者は必ず実験ノートに実習内容と実習従事時間を記載し、定期的に指導教員は実験ノートをチェックし、実験内容と実習従事時間数を確認する。なお指導教員等の指導が得られる場合、週末、長期休暇等の実習も履修時間とみなす。
- ② 医学研究（１）については 3 年次後期末までに A4 2 枚以上の「研究論文」を作成し指導教員に提出する。医学研究（２）、（３）、（４）については、それぞれ 4 年次後期末、5 年次後期末、6 年次後期末に各分野で発表しなければならない。
- ③ 評価は指導教員が期間中の学習態度、研究論文、発表等を総合して判定する。

～基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成プログラムHPアドレス～

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/kiso>

令和3年度医学研究履修申請書

以下のとおり医学研究（1・2・3・4）の履修を申請します。

志望教育研究分野名： _____

教室担当者： _____

4月 _____日に担当教授の内諾をいただきました。

内諾方法：メール・電話

その他（ _____ ）

申請日 令和3年4月 _____日

氏名 _____

学籍番号 _____

連絡先（住所） _____

電話番号 _____

電話番号（携帯） _____

メールアドレス(E-mail) _____

- ◆ 提出先 医学部学務課医学科教務学生係 kyomu1@med.kobe-u.ac.jp 宛にメールで添付
または 医学部管理棟3階学務課医学科教務学生係窓口

R3 研究医枠定員数：2名
 増員開始年度：2014(H26)
 R4 増員希望数：2名

※青枠は奨学金貸与/給付がある期間

